

◎投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とイスラエル国との間の協定

(略称) イスラエルとの投資協定

平成二十九年	二月	一日	東京で署名
平成二十九年	六月	九日	国会承認
平成二十九年	七月	四日	日本側の効力発生のための通告の受領
平成二十九年	九月	五日	イスラエル側の効力発生のための通告の受領
平成二十九年	九月	十五日	公布及び告示
平成二十九年	十月	五日	(条約第三〇号及び外務省告示第三二七号) 効力発生

目次

ページ

前文	三五七
第一章 投資	三五七
第一条 定義	三五七
第二条 内国民待遇	三六二
第三条 最恵国待遇	三六二
第四条 一般的待遇	三六三
第五条 裁判所の裁判を受ける権利	三六三
第六条 特定措置の履行要求の禁止	三六三
第七条 経営幹部及び取締役会	三六五

第 八 条	適合しない措置	三六六
第 九 条	透明性	三六八
第 十 条	特別な手続及び情報の要求	三六八
第 十 一 条	収用及び補償	三六九
第 十 二 条	損失又は損害に対する補償	三七〇
第 十 三 条	代位	三七〇
第 十 四 条	資金の移転	三七一
第 十 五 条	一般的例外及び安全保障のための例外	三七二
第 十 六 条	一時的なセーフガード措置	三七三
第 十 七 条	信用秩序の維持のための措置	三七四
第 十 八 条	知的財産権	三七五
第 十 九 条	租税に係る課税措置	三七五
第 二 十 条	健康、安全及び環境に関する措置並びに労働基準	三七六
第 二 十 一 条	利益の否認	三七六
第 二 十 二 条	逸脱の禁止	三七六
第 二 章	紛争解決	三七七
第 二 十 三 条	両締約国間の紛争の解決	三七七
第 二 十 四 条	一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決	三七八
第 二 十 五 条	文書の送達	三八二
第 三 章	合同委員会	三八三
第 二 十 六 条	合同委員会	三八三
第 四 章	最終規定	三八四

第二十七条	見出し	三八四
第二十八条	最終規定	三八四
末	文	三八五
附属書 I	第八条 1 (a) に規定する現行の適合しない措置	三八六
附属書 II	第八条 2 に規定する適合しない措置	四三八

投資の自由化、促進及び保護に関する日本国とイスラエル国との間の協定

日本国政府及びイスラエル国政府は、日本国及びイスラエル国（以下「両締約国」という。）に代わつて、

両締約国間の経済関係を強化するために投資を更に促進することを希望し、

一方の締約国の投資家による他方の締約国の領域における投資を拡大するための安定した、衡平な、良好な及び透明性のある条件を更に作り出すことを意図し、

両締約国において投資家の発意を促し、及び繁栄を促進する上で投資の漸進的な自由化を図ることが一層重要になっていることを認識し、

一般に適用される健康上、安全上及び環境上の措置を緩和することなしに、これらの目的を達成することが可能であることを認識して、

次のとおり協定した。

第一章 投資

第一条 定義

この協定の適用上、

(a) 「投資財産」とは、投資家が、関係法令に従って形成する全ての種類の資産であつて、直接又は間接に所有し、又は支配するものをいい、次のものを含む。

- (i) 企業及び企業の支店
- (ii) 株式、出資その他の形態の企業の特分

AGREEMENT BETWEEN  
JAPAN AND THE STATE OF ISRAEL  
FOR THE LIBERALIZATION,  
PROMOTION AND PROTECTION OF INVESTMENT

The Government of Japan and the Government of the State of Israel respectively on behalf of Japan and the State of Israel (hereinafter referred to as "the Contracting Parties"),

Desiring to further promote investment in order to strengthen the economic relationship between the Contracting Parties;

Intending to further create stable, equitable, favorable and transparent conditions for greater investment by investors of one Contracting Party in the Territory of the other Contracting Party;

Recognizing the growing importance of the progressive liberalization of investment for stimulating initiative of investors and for promoting prosperity in both Contracting Parties; and

Recognizing that these objectives can be achieved without relaxing health, safety and environmental measures of general application;

Have agreed as follows:

SECTION I  
INVESTMENT  
Article 1  
Definitions

For the purposes of this Agreement:

- (a) the term "investment" means every kind of asset made in accordance with applicable laws and regulations, owned or controlled, directly or indirectly, by an investor, including:
  - (i) an enterprise and a branch of an enterprise;
  - (ii) shares, stocks or other forms of equity participation in an enterprise;



## イスラエルとの投資協定

- (iii) 債券、社債、貸付金その他の債務証書
  - (iv) 先物、オプションその他の派生商品
  - (v) 契約（完成後引渡し、建設、経営、生産又は利益配分に関する契約を含む。）に基づく権利
  - (vi) 金銭債権及び金銭的価値を有する契約に基づく給付の請求権
  - (vii) 知的財産権及びのれん
  - (viii) 特許、免許、承認、許可及び法令又は契約によって与えられる類似の権利（天然資源の探査及び探掘のための権利を含む。）
  - (ix) 他の全ての資産（動産であるか不動産であるかを問わない。）及び賃借権、抵当権、先取特権、質権その他の関連する財産権
- 投資財産には、投資財産から生ずる価値、特に、利益、利子、資本利得、配当、使用料及び手数料を含む。投資される資産の形態の変更は、その投資財産としての性質に影響を及ぼすものではない。
- 注釈 この条において、投資財産には、次のものを含まないことが確認される。

- (i) 公債
- (ii) 次のもののみから生ずる金銭債権
  - (A) 一方の締約国の領域にある国民又は企業による他方の締約国の領域にある国民又は企業に対する物品又はサービスの販売のための商事契約
  - (B) (A)に規定する契約に基づく商業取引に関連して与えられる信用

## 三五八

- (iii) bonds, debentures, loans and other forms of debt;
  - (iv) futures, options and other derivatives;
  - (v) rights under contracts, including turnkey, construction, management, production or revenue-sharing contracts;
  - (vi) claims to money and to any performance under contract having a financial value;
  - (vii) intellectual property rights and goodwill;
  - (viii) concessions, licenses, authorizations, permits and similar rights conferred by laws and regulations or under contracts, including those for the exploration and exploitation of natural resources; and
  - (ix) any other movable and immovable property, and any related property rights, such as leases, mortgages, liens and pledges;
- An investment includes the amounts yielded by an investment, in particular, profit, interest, capital gains, dividends, royalties and fees. A change in the form in which assets are invested does not affect their character as an investment.
- Note: For the avoidance of doubt in this Article, an investment does not include:
- (i) public debt; or
  - (ii) claims to money arising solely from:
    - (A) commercial contracts for the sale of goods or services by a national or an enterprise in the territory of a Contracting Party to a national or an enterprise in the territory of the other Contracting Party; or
    - (B) credits granted in relation with a commercial transaction under a contract referred to in (ii) (A) of this note;

(b) 「投資に関する合意」とは、一方の締約国の中央又は地方の政府又は当局と他方の締約国の投資家又はその投資財産であつて当該一方の締約国の領域にある企業であるものととの間の書面による合意であり、当該投資家又は当該投資財産が当該一方の締約国における投資財産の設立又は取得に当たり依拠するものをいう。

注釈 書面による合意とは、書面による合意であつて、両当事者により作成され、当該両当事者の間に権利及び義務を創設し、かつ、当該両当事者を拘束するもの（単一の文書によるものであるか、複数の文書によるものであるかを問わない。）をいう。（⑤場合において、

(i) 行政当局若しくは司法当局の一方的な行為（例えば、締約国がその規制権限のみに基づいて与える許可、免許、特許又は承認）のみをもつて、又は政令、命令若しくは判決のみをもつて、書面による合意であるとはされない。

(ii) 行政上又は司法上の同意判決又は同意命令は、書面による合意であるとはされない。

(c) 「締約国の投資家」とは、次の(i)又は(ii)に規定する者であつて、他方の締約国の領域において投資を行おうとし、行つており、又は既に行つたものをいう。

(i) (A) 日本国については、日本国の国民であり、かつ、イスラエル国の国民でない自然人

(B) イスラエル国については、イスラエル国の国民又は永住者であり、かつ、日本国の国民でない自然人

(ii) 締約国の企業

(b) the term "investment agreement" means a written agreement between the central or local government or authority of a Contracting Party and an investor of the other Contracting Party or its investment that is an enterprise in the territory of the former Contracting Party, on which the investor or the investment relies in establishing or acquiring an investment in the former Contracting Party;

Note: Written agreement refers to an agreement in writing, executed by both parties, whether in a single instrument or in multiple instruments, that creates an exchange of rights and obligations, binding on both parties.

For greater certainty:

(i) a unilateral act of an administrative or judicial authority, such as a permit, license, concession or authorization issued by a Contracting Party solely in its regulatory capacity, or a decree, order, or judgment, standing alone; and

(ii) an administrative or judicial consent decree or order,

shall not be considered a written agreement.

(c) the term "investor of a Contracting Party" means:

(i) (A) with respect to Japan: a natural person who is a national of Japan and who is not also a national of the State of Israel; and

(B) with respect to the State of Israel: a natural person who is a national or permanent resident of the State of Israel and who is not also a national of Japan; or

(ii) an enterprise of that Contracting Party, that seeks to make, is making or has made investments in the Territory of the other Contracting Party;

## イスラエルとの投資協定

(iii) (i) (A)の規定にかかわらず、日本国の国民であり、かつ、イスラエル国の永住者である自然人は、申立人とはならない。

(d) 「企業」とは、営利目的であるかどうかを問わず、また、民間又は政府のいずれが所有し、又は支配しているかを問わず、関係法令に基づいて適正に設立され、又は組織される法人その他の事業体（社団、信託、組合、個人企業、合弁企業、団体、組織及び会社を含む。）をいう。

(e) 「締約国の企業」とは、次の(i)及び(ii)の規定の双方に該当する企業をいう。

(i) 締約国の関係法令に基づいて適正に設立され、又は組織されるもの

(ii) 当該締約国の領域において実質的な事業活動を行っているもの

(f) 「投資活動」とは、投資財産の設立、取得、拡張、運営、経営、維持、使用、享有及び売却その他の処分をいう。

(g) 「領域」とは、

(i) 日本国については、日本国の領域並びに日本国が国際法に従って主権的権利又は管轄権を行使する排他的経済水域及び大陸棚をいう。

(ii) イスラエル国については、イスラエル国の領域（領海を含む。）並びに大陸棚及び排他的経済水域であって、イスラエル国が国際法及びイスラエル国の法令に従って主権、主権的権利又は管轄権を行使するものをいう。

(h) 「現行の」とは、この協定の効力発生の日において効力を有するものをいう。

(iii) notwithstanding subparagraph (c) (i) (A), a natural person who is a national of Japan and who is also a permanent resident of the State of Israel shall not be a claimant;

(d) the term "enterprise" means any legal person or any other entity duly constituted or organized under the applicable laws and regulations, whether or not for profit, and whether private or government owned or controlled, including any corporation, trust, partnership, sole proprietorship, joint venture, association, organization or company;

(e) the term "enterprise of a Contracting Party" means an enterprise:

(i) duly constituted or organized under the applicable laws and regulations of that Contracting Party; and

(ii) carrying out substantial business activities in the Territory of the Contracting Party;

(f) the term "investment activities" means establishment, acquisition, expansion, operation, management, maintenance, use, enjoyment and sale or other disposal of investments;

(g) the term "Territory" means:

(i) with respect to Japan: the territory of Japan, and the exclusive economic zone and the continental shelf with respect to which Japan exercises sovereign rights or jurisdiction in accordance with international law; and

(ii) with respect to the State of Israel: the territory of the State of Israel including the territorial sea as well as the continental shelf and the exclusive economic zone, over which the State of Israel exercises sovereignty, sovereign rights or jurisdiction in accordance with international law and the laws of the State of Israel;

(h) the term "existing" means being in effect on the date of entry into force of this Agreement;

- (i) 「自由利用可能通貨」とは、国際通貨基金協定に定義する自由利用可能通貨をいう。
- (j) 「世界貿易機関設立協定」とは、千九百九十四年四月十五日にマラケシュで作成された世界貿易機関を設立するマラケシュ協定をいう。
- (k) 「貿易関連知的所有権協定」とは、世界貿易機関設立協定附属書 C 知的所有権の貿易関連の側面に関する協定をいう。
- (l) 「申立人」とは、一方の締約国の投資家であって、他方の締約国との間の投資紛争の当事者であるものをいう。
- (m) 「一方の紛争当事者」とは、申立人又は被申立人をいう。
- (n) 「紛争当事者」とは、申立人及び被申立人をいう。
- (o) 「ICSID」とは、投資紛争解決国際センターをいう。
- (p) 「ICSID 追加的制度規則」とは、投資紛争解決国際センターの事務局が手続を実施するための追加的な制度を規律する規則をいう。
- (q) 「ICSID 条約」とは、千九百六十五年三月十八日にワシントンで作成された国家と他の国家の国民との間の投資紛争の解決に関する条約をいう。
- (r) 「ニューヨーク条約」とは、千九百五十八年六月十日にニューヨークで作成された外国仲裁判断の承認及び執行に関する条約をいう。
- (s) 「被申立人」とは、投資紛争の当事者である締約国をいう。
- (t) 「UNCITRAL 仲裁規則」とは、二千十年に改正された国際連合国際商取引法委員会の仲裁規則をいう。

- (1) the term "freely usable currency" means freely usable currency as defined under the Articles of Agreement of the International Monetary Fund;
- (j) the term "the WTO Agreement" means the Marrakesh Agreement Establishing the World Trade Organization, done at Marrakesh, April 15, 1994;
- (k) the term "the TRIPS Agreement" means the Agreement on Trade-Related Aspects of Intellectual Property Rights in Annex 1C to the WTO Agreement;
- (l) the term "claimant" means an investor of a Contracting Party that is a party to an investment dispute with the other Contracting Party;
- (m) the term "disputing party" means either the claimant or the respondent;
- (n) the term "disputing parties" means the claimant and the respondent;
- (o) the term "ICSID" means the International Center for Settlement of Investment Disputes;
- (p) the term "ICSID Additional Facility Rules" means the Rules Governing the Additional Facility for the Administration of Proceedings by the Secretariat of the International Center for Settlement of Investment Disputes;
- (q) the term "ICSID Convention" means the Convention on the Settlement of Investment Disputes Between States and Nationals of Other States, done at Washington, March 18, 1965;
- (r) the term "New York Convention" means the Convention on the Recognition and Enforcement of Foreign Arbitral Awards, done at New York, June 10, 1958;
- (s) the term "respondent" means the Contracting Party that is a party to an investment dispute; and
- (t) the term "UNCITRAL Arbitration Rules" means the Arbitration Rules of the United Nations Commission on International Trade Law, as revised in 2010.

## イスラエルとの投資協定

### 第二条 内国民待遇

一方の締約国は、自国の領域において、投資活動に関し、他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、同様の状況において自国の投資家及びその投資財産に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

### 第三条 最恵国待遇

1 一方の締約国は、自国の領域において、投資活動に関し、他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、同様の状況において第三国の投資家及びその投資財産に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

2 この条に規定する待遇には、国際協定又は締約国と第三国の投資家若しくはその投資財産であって当該締約国の領域にある企業であるものとの間の書面による合意に規定する定義及び国際的な紛争解決のための手続又は制度を含まない。

3 1の規定は、一方の締約国が、この協定の効力発生の日の前に効力を有していた二国間又は多数国間の国際協定に基づく待遇に伴う利益を、他方の締約国の投資家及びその投資財産に与えることを義務付けるものと解してはならない。

4 1の規定は、一方の締約国が、現行の又は将来における関税同盟、経済同盟若しくは通貨同盟、自由貿易地域又はこれらに類する事項と内容とする国際協定であって、当該一方の締約国が当事国であるもの又は将来当事国となるものに基づいて与える特惠的な待遇を、他方の締約国の投資家及びその投資財産に与えることを義務付けるものと解してはならない。

### Article 2 National Treatment

Each Contracting Party shall in its Territory accord to investors of the other Contracting Party and to their investments treatment no less favorable than the treatment it accords in like circumstances to its own investors and to their investments with respect to investment activities.

### Article 3 Most-Favored-Nation Treatment

1. Each Contracting Party shall in its Territory accord to investors of the other Contracting Party and to their investments treatment no less favorable than the treatment it accords in like circumstances to investors of a non-Contracting Party and to their investments with respect to investment activities.

2. For greater certainty, the treatment referred to in this Article does not encompass definitions and international dispute settlement procedures or mechanisms under any international agreement or any written agreement between a Contracting Party and an investor of a non-Contracting Party or its investment that is an enterprise in the Territory of the former Contracting Party.

3. The provisions of paragraph 1 shall not be construed so as to oblige a Contracting Party to extend to the investors of the other Contracting Party and to their investments the benefits of any treatment under any bilateral or multilateral international agreement which was in force prior to the date of entry into force of this Agreement.

4. The provisions of paragraph 1 shall not be construed so as to oblige a Contracting Party to extend to investors of the other Contracting Party and to their investments any preferential treatment by virtue of any existing or future customs union, economic or monetary union, free trade area or similar international agreements to which the former Contracting Party is a party or may become a party in the future.

一般的待遇

第四条 一般的待遇

一方の締約国は、自国の領域において、他方の締約国の投資家の投資財産に対し、国際慣習法に基づく待遇（公正かつ衡平な待遇並びに十分な保護及び保障を含む。）を与える。

第五条 裁判所の裁判を受ける権利

裁判所の  
裁判を受ける  
権利

一方の締約国は、自国の領域において、他方の締約国の投資家の権利の行使及び擁護のため全ての審級にわたり裁判所の裁判を受け、及び行政機関に対して申立てをする権利に関し、当該他方の締約国の投資家に対し、同様の状況において自国の投資家又は第三国の投資家に与える待遇よりも不利でない待遇を与える。

第六条 特定措置の履行要求の禁止

特定措置  
の履行要求  
の禁止

1 いずれの一方の締約国も、自国の領域における他方の締約国の投資家の投資財産又は投資活動に関し、次の事項の要求を課し、又は強制することができず、また、当該事項を約束し、又は履行することを強制することができない。

- (a) 一定の水準又は割合の現地調達を達成すること。
- (b) 自国の領域において生産された物品若しくは提供されたサービスを購入し、利用し、若しくは優先し、又は自国の領域内の自然人若しくは企業から物品若しくはサービスを購入すること。
- (c) 輸入数量又は輸入価額を、輸出数量若しくは輸出価額と又は当該投資家の投資財産に関連する外国為替の流入の量と何らかの形で関連付けること。
- (d) 当該投資家の投資財産により生産される物品又は提供されるサービスの自国の領域における販売を、輸出数量若しくは輸出価額と又は外国為替収入と何らかの形で関連付けることにより制限すること。
- (e) 輸出又は輸出のための販売を制限すること。

Article 4  
General Treatment

Each Contracting Party shall in its Territory accord to investments of investors of the other Contracting Party treatment in accordance with customary international law, including fair and equitable treatment and full protection and security.

Article 5  
Access to the Courts of Justice

Each Contracting Party shall in its Territory accord to investors of the other Contracting Party treatment no less favorable than the treatment which it accords in like circumstances to its own investors or investors of a non-Contracting Party with respect to access to the courts of justice and administrative tribunals and agencies in all degrees of jurisdiction, both in pursuit and in defense of such investors' rights.

Article 6  
Prohibition of Performance Requirements

1. Neither Contracting Party may impose or enforce any of the following requirements, or enforce any commitment or undertaking, in connection with an investment or investment activities of an investor of the other Contracting Party in its Territory:

- (a) to achieve a given level or percentage of domestic content;
- (b) to purchase, use or accord a preference to goods produced or services provided in its Territory, or to purchase goods or services from a natural person or an enterprise in its Territory;
- (c) to relate in any way the volume or value of imports to the volume or value of exports or to the amount of foreign exchange inflows associated with an investment of the investor;
- (d) to restrict sales of goods or services in its Territory that an investment of the investor produces or provides by relating such sales in any way to the volume or value of its exports or foreign exchange earnings;
- (e) to restrict the exportation or sale for export;

## イスラエルとの投資協定

- (f) 一定の水準又は割合の物品又はサービスを輸出すること。
- (g) 技術、製造工程その他の財産的価値を有する知識を自国の領域内の自然人又は企業に移転すること（貿易関連知的所有権協定に反しない態様で行われるものを除く。）。
- (h) 当該投資家と自国の領域内の自然人又は企業との間で任意に締結されるライセンス契約（既に締結されたものかどうかを問わない。）について次の事項を採用すること。ただし、当該一方の締約国が政府の権限の行使として、次の事項の要求を課し、又は次の事項を約束し、若しくは履行すること（これを強制する場合に限る。）
- (i) 当該ライセンス契約の下での使用料に係る一定の率又は額
- (ii) 当該ライセンス契約の有効期間に係る一定の期間

注釈 この(h)に規定する「ライセンス契約」とは、技術、製造工程その他の財産的価値を有する知識の移転に関するライセンス契約をいう。

- (i) 自国の領域に当該投資家の特定地域又は世界市場に向けた事業本部を設置すること。
- (j) 一定の数又は割合の自国民を雇用すること。
- (k) 自国の領域において一定の水準又は価額の研究開発を達成すること。
- (l) 当該投資家が生産する物品又は当該投資家が提供するサービスの二又は二以上を、特定地域又は世界市場に向けて自国の領域のみから供給すること。
- 2 いずれの一方の締約国も、自国の領域における他方の締約国の投資家の投資財産又は投資活動に関し、利益の享受又はその継続のための条件として、次の事項の要求に従つてこれを求めることを1の規定により妨げられるものではない。

## 三六四

- (f) to export a given level or percentage of goods or services;
- (g) to transfer technology, a production process or other proprietary knowledge to a natural person or an enterprise in its Territory, except those undertaken in a manner not inconsistent with the TRIPS Agreement;
- (h) to adopt:
- (i) a given rate or amount of royalty under a license contract; or
- (ii) a given duration of the term of a license contract,
- in regard to any license contract freely entered into between the investor and a natural person or an enterprise in its Territory, whether it has been entered into or not, provided that the requirement is imposed on the commitment or undertaking is enforced by an exercise of governmental authority of the Contracting Party;

Note: A "license contract" referred to in this subparagraph means any license contract concerning transfer of technology, a production process, or other proprietary knowledge.

- (i) to locate the headquarters of the investor for a specific region or the world market in its Territory;
- (j) to hire a given number or percentage of its nationals;
- (k) to achieve a given level or value of research and development in its Territory; or
- (l) to supply one or more of the goods that the investor produces or the services that the investor provides to a specific region or the world market, exclusively from its Territory.
2. The provisions of paragraph 1 do not preclude either Contracting Party from conditioning the receipt or continued receipt of an advantage, in connection with an investment or investment activities of an investor of the other Contracting Party in its Territory, on compliance with:



- (a) 1 (a)から(e)までに規定する事項以外の事項
- (b) 自国の領域において生産拠点を設け、サービスを提供し、若しくは取得し、労働者を訓練し、若しくは雇用し、特定の施設を建設し、若しくは拡張し、又は研究開発を行うこと。
- (c) 1 (a)及び(b)に規定する事項。ただし、特恵的な関税又は特恵的な割当ての適用を受けるために必要な物品の内容に関し、輸入締約国が要件を課する場合に限る。
- 3 1 (g)及び(h)の規定は、競争法の違反に係る救済措置として司法裁判所、行政裁判所又は競争当局が1 (g)及び(h)に規定する事項の要求を課する場合又は当該事項を約束し、若しくは履行すること強制する場合には、適用されない。
- 4 この条の規定は、締約国が約束、履行若しくは要求を課していない場合又はそれとを求めていない場合において、私人間における約束、履行又は要求を強制することを妨げるものではない。

第七条 経営幹部及び取締役会

- 1 いずれの一方の締約国も、自国の企業であつて他方の締約国の投資家であるものに対し、特定の国籍を有する自然人を経営幹部又は上級役員に任命することを要求することができない。
- 2 1の規定の適用を妨げることなく、一方の締約国は、自国の企業であつて他方の締約国の投資家の投資財産であるものに対し、当該企業の取締役会又はこれに置かれる委員会の構成員の過半数又はこれを下回る数が特定の国籍を有すること又は当該一方の締約国の領域内の居住者であることを要求することができ。ただし、次の(a)及び(b)の条件が満たされる場合に限る。
- (a) その要求により、自己の投資財産を支配する当該投資家の能力が実質的に妨げられないこと。
- (b) その要求によって求められる当該取締役会又は委員会の構成員の国籍が当該他方の締約国と外交関係有していない第三国のものでないこと。

- (a) any requirement other than the requirements set forth in subparagraphs 1(a) through 1(e);
- (b) a requirement to locate production, supply or acquire a service, train or employ workers, construct or expand particular facilities, or carry out research and development, in its Territory; or
- (c) the requirements set forth in subparagraphs 1(a) and 1(b), when the requirements relating to the content of goods necessary to qualify for preferential tariffs or preferential quotas are imposed by an importing Contracting Party.
3. Subparagraphs 1(g) and 1(h) shall not apply when the requirement is imposed or the commitment or undertaking is enforced by a court of justice, administrative tribunal or competition authority to remedy an alleged violation of competition laws.
4. This Article does not preclude enforcement of any commitment, undertaking or requirement between private parties, where a Contracting Party did not impose or require the commitment, undertaking or requirement.

Article 7

Senior Management and Board of Directors

1. Neither Contracting Party may require that an enterprise of that Contracting Party that is an investment of an investor of the other Contracting Party appoint to senior management positions, or as senior executives, a natural person of any particular nationality.
2. Without prejudice to paragraph 1, a Contracting Party may require that a majority or less of the board of directors, or any committee thereof, of an enterprise of that Contracting Party that is an investment of an investor of the other Contracting Party be of a particular nationality, or a resident in the Territory of the former Contracting Party, provided that:
  - (a) the requirement does not materially impair the ability of the investor to exercise control over its investment; and
  - (b) the nationality of members of the board or committee required thereunder is not of any non-Contracting Party which does not maintain diplomatic relations with the latter Contracting Party.



## イスラエルとの投資協定

### 第八条 適合しない措置

#### 適合しない措置

- 1 第二条 第三条及び前二条の規定は、次のものについては、適用しない。
  - (a) 締約国の中央政府により維持されるこれらの規定に適合しない現行の措置であつて、附属書Ⅰの締約国の表に記載するもの
  - (b) 締約国の地方政府により維持されるこれらの規定に適合しない現行の措置
  - (c) (a)及び(b)に規定する措置の継続又は即時の更新
  - (d) (a)及び(b)に規定する措置の改正又は修正（この協定の効力発生の日における当該措置と第二条 第三条及び前二条の規定との適合性の水準を低下させない場合に限る。）
- 2 第二条、第三条及び前二条の規定は、締約国が附属書Ⅱの自国の表に記載する分野、小分野又は活動に關して採用し、又は維持する措置については、適用しない。
- 3 いずれの一方の締約国も、附属書Ⅱの自国の表の対象となる措置をこの協定の効力発生の日の後に採用する場合には、他方の締約国の投資家に対し、その国籍を理由として、当該措置が効力を生じた時点で存在する投資財産を売却その他の方法で処分することを要求してはならない。
- 4 一方の締約国は、この協定の効力発生の日の後に、附属書Ⅰの自国の表に記載する現行の適合しない措置を改正し、若しくは修正する場合又は附属書Ⅱの自国の表に記載する分野、小分野若しくは活動に関する新たな若しくは一層制限的な措置を採用する場合において、他方の締約国の要請があつたときは、その要請の後でできる限り速やかに当該他方の締約国に対し当該措置の性質に関する情報を提供するものとして、相互の満足を確保することを目的として当該他方の締約国との間で誠実に討議を行う。

## 三六

### Article 8 Non-Conforming Measures

1. Articles 2, 3, 6 and 7 shall not apply to:
  - (a) any existing non-conforming measure that is maintained by the central government of a Contracting Party, as set out in the Schedule of each Contracting Party in Annex I;
  - (b) any existing non-conforming measure that is maintained by a local government of a Contracting Party;
  - (c) the continuation or prompt renewal of any non-conforming measure referred to in subparagraphs (a) and (b); or
  - (d) an amendment or modification to any non-conforming measure referred to in subparagraphs (a) and (b), provided that the amendment or modification does not decrease the conformity of the measure, as it existed at the date of the entry into force of this Agreement, with Articles 2, 3, 6 and 7.
2. Articles 2, 3, 6 and 7 shall not apply to any measure that a Contracting Party adopts or maintains with respect to sectors, sub-sectors or activities set out in its Schedule in Annex II.
3. Neither Contracting Party shall, under any measure adopted after the date of entry into force of this Agreement and covered by its Schedule in Annex II, require an investor of the other Contracting Party, by reason of its nationality, to sell or otherwise dispose of an investment that exists at the time the measure becomes effective.
4. In cases where a Contracting Party makes an amendment or a modification to any existing non-conforming measure set out in its Schedule in Annex I or where a Contracting Party adopts any new or more restrictive measure with respect to sectors, sub-sectors or activities set out in its Schedule in Annex II after the date of entry into force of this Agreement, the Contracting Party shall upon request by the other Contracting Party, as soon as possible thereafter, provide characteristics of the measure to the other Contracting Party and hold discussions in good faith with the other Contracting Party with a view to achieving mutual satisfaction.

5 各締約国は、附属書Ⅰ及び附属書Ⅱの自国の表に掲げる適合しない措置を削減し、又は撤廃する可能性を検討するため、当該適合しない措置を随時見直すことの重要性を認める。

6 第二条及び第三条の規定は、貿易関連知的所有権協定第三条及び第四条の規定に基づく義務の例外又は特別の取扱いとして貿易関連知的所有権協定第三条から第五条までに明示的に規定する範囲内にあるいかなる措置についても、適用しない。

7 第二条、第三条及び前二条の規定は、締約国が政府調達に関して採用し、又は維持するいかなる措置についても、適用しない。

8 両締約国は、この協定の効力発生の時に存在しなかった新たな分野が、この協定の効力発生後にいずれかの締約国において生じ、これに伴い当該締約国がこの協定の附属書の改正を求める場合において、当該締約国による要請があったときは、附属書の改正のための討議を両締約国間で直ちにに行い、行々とする旨の了解を確認する。

9 両締約国は、第二十八条3の規定によるこの協定の附属書の改正を検討するに当たり、両締約国の投資家の投資財産に対する当該改正の影響を考慮する。そのような影響がない場合には、両締約国は、当該附属書を改正するために直ちに討議を開始する。

10 両締約国は、初級又は中級の従業員に対する国籍又は居住に関する要求であって、両締約国の法律の無差別な適用によって課され、又は強制されるものは、第二条、第三条又は前条の規定に適合しない措置とはみなされない旨の了解を確認する。

11 両締約国は、出入国管理若しくは移住に係る事項、一方の締約国の自然人による他方の締約国の領域への入国若しくはその領域における一時的な潜在を規律する措置又は自然人の移動についてこの協定が適用されない旨の了解を確認する。

5. Each Contracting Party recognizes the importance of reviewing from time to time the non-conforming measures specified in its Schedules in Annexes I and II exploring the possibility for the reduction or elimination of the non-conforming measures.

6. Articles 2 and 3 shall not apply to any measure covered by the exceptions to, or derogations from, obligations under Articles 3 and 4 of the TRIPS Agreement, as specifically provided in Articles 3 through 5 of the TRIPS Agreement.

7. Articles 2, 3, 6 and 7 shall not apply to any measure that a Contracting Party adopts or maintains with respect to government procurement.

8. The Contracting Parties confirm their understanding that, when a new sector, which does not exist at the time of the entry into force of this Agreement, emerges in a Contracting Party after the entry into force of this Agreement and that Contracting Party, therefore, wishes to amend the Annexes to this Agreement, the Contracting Parties shall, upon request by that Contracting Party, enter immediately into discussion with a view to amending the Annexes.

9. When considering an amendment to the Annexes to this Agreement, in accordance with paragraph 3 of Article 28, the Contracting Parties shall take into account the effect of the amendment with regard to investments of investors of the Contracting Parties. In the case of the absence of such effect, the Contracting Parties will enter immediately into discussions with a view to amending the Annexes.

10. The Contracting Parties confirm their understanding that any requirement for nationality or residency imposed or enforced through non-discriminatory application of their laws with regard to junior or middle-level employees shall not be regarded as a non-conforming measure to Article 2, 3 or 7.

11. The Contracting Parties confirm their understanding that this Agreement does not apply to immigration or migration matters, to measures that regulate the entry of natural persons of a Contracting Party into, or their temporary stay in, the Territory of the other Contracting Party, or to movement of natural persons.

## イスラエルとの投資協定

### 第九条 透明性

## 透 明 性

1 各締約国は、自国の法令、行政上の手続、一般に適用される行政上及び裁判所の決定並びに国際協定であつて、この協定の実施及び運用に関連し、又は影響を及ぼすものを速やかに公表し、又は公に入手可能なものとする。

2 一方の締約国は、他方の締約国の要請があつた場合には、1に規定する事項に関して、速やかに、当該他方の締約国の個別の質問に応じ、及び当該他方の締約国に対して情報を提供する。

3 1及び2の規定は、締約国に対し、秘密の情報であつて、その開示が法令の実施を妨げ、若しくは公共の利益に反することとなり、又はプライバシー若しくは正当な商業上の利益を害することとなるもの開示を義務付けるものと解してはならない。

### 第十条 特別な手続及び情報の要求

1 第二条のいかなる規定も、一方の締約国が自国の領域における他方の締約国の投資家の投資活動に関して特別な手続（登録の要件に従うこと、当該投資家が当該一方の締約国の居住者でなければならないとの要件に従うこと等）を定める措置を採用し、又は維持することを妨げるものと解してはならない。ただし、当該手続は、この協定に基づく当該投資家の権利を実質的に害するものであつてはならない。

2 第二条及び第三条の規定にかかわらず、一方の締約国は、他方の締約国の投資家又はその投資財産に対し、専ら参考情報として入手すること又は統計を収集することを目的として、当該他方の締約国の投資家の投資財産に関する情報を提供することを求めることができる。当該一方の締約国は、当該情報のうち秘密のものについては、当該他方の締約国の投資家又はその投資財産の競争上の立場を害することとなる開示から保護する。この2のいかなる規定も、一方の締約国が自国の法令の衡平かつ誠実な適用に関連して他の方法により情報を入手し、又は開示することを妨げるものと解してはならない。

### Article 9 Transparency

1. Each Contracting Party shall promptly publish, or otherwise make publicly available, its laws, regulations, administrative procedures, administrative rulings and court decisions of general application as well as international agreements which pertain to or affect the implementation and operation of this Agreement.

2. Each Contracting Party shall, upon request by the other Contracting Party, promptly respond to specific questions and provide that other Contracting Party with information on matters set out in paragraph 1.

3. Paragraphs 1 and 2 shall not be construed so as to oblige either Contracting Party to disclose confidential information, the disclosure of which would impede law enforcement or otherwise be contrary to the public interest, or which would prejudice privacy or legitimate commercial interests.

### Article 10 Special Formalities and Information Requirements

1. Nothing in Article 2 shall be construed to prevent a Contracting Party from adopting or maintaining a measure that prescribes special formalities in connection with investment activities of investors of the other Contracting Party in its Territory, such as compliance with registration requirements or requirements that investors be residents of the former Contracting Party, provided that such special formalities do not impair the substance of the rights of such investors under this Agreement.

2. Notwithstanding Articles 2 and 3, a Contracting Party may require an investor of the other Contracting Party or its investments to provide information concerning its investments solely for informational or statistical purposes. The Contracting Party shall protect such information that is confidential from any disclosure that would prejudice the competitive position of the investor of the latter Contracting Party or its investments. Nothing in this paragraph shall be construed so as to prevent a Contracting Party from otherwise obtaining or disclosing information in connection with the equitable and good-faith application of its law.

第十一条 収用及び補償

- 1 いずれの一方の締約国も、自国の領域にある他方の締約国の投資家の投資財産の収用若しくは国有化又はこれに対する収用若しくは国有化と同等の措置（以下「収用」という。）を実施してはならない。ただし、次の全ての要件を満たす場合は、この限りでない。
  - (a) 公共の目的のためのものであること。
  - (b) 差別的なものでないこと。
  - (c) 2 から 4 までの規定に従って迅速、適当かつ実効的な補償の支払を伴うものであること。
  - (d) 一方の締約国の国内法令に定める手続及び国際的に認められている基本的な規則に従って実施するものであること。
  - (e) 影響を受ける投資家が、当該収用を行う締約国の法律に基づき、当該締約国の司法当局その他の独立した当局により、当該収用の合法性及び自己の投資財産の評価に関し、この条に定める原則に従って速やかな審査を受ける権利を有すること。
- 2 補償は、収用が公表された時の直前又は収用が行われた時の直前のいずれか早い方の時における収用された投資財産の公正な市場価格に相当するものでなければならない。公正な市場価格には、収用が事前に公に知られることにより生じた価格の変化を反映させてはならない。
- 3 補償については、遅滞なく支払うものとし、収用の日から支払の日までに発生した商業的に妥当な金利に基づく利子を含むものとし、実際に換価すること及び自由に移転することができるものとす。
- 4 支払は、自由利用可能通貨で行われるものとし、支払われる補償には、収用の日から支払の日までに発生した利子であって、当該自由利用可能通貨についての商業的に妥当な金利に基づくものを含め。
- 5 この条の規定は、貿易関連知的所有権協定に基づく知的財産権の使用に関する締約国の許諾については適用しない。

イスラエルとの投資協定

Article 11  
Expropriation and Compensation

1. Neither Contracting Party shall expropriate or nationalize an investment in its Territory of an investor of the other Contracting Party or take any measure equivalent to expropriation or nationalization (hereinafter referred to as "expropriation"), except:
  - (a) for a public purpose;
  - (b) in a non-discriminatory manner;
  - (c) upon payment of prompt, adequate and effective compensation in accordance with paragraphs 2, 3 and 4;
  - (d) in accordance with procedures established in national legislation of either Contracting Party and fundamental internationally recognized rules; and
  - (e) provided that the investors affected have a right, under the law of the Contracting Party making the expropriation, to prompt review, by a judicial or other independent authority of that Contracting Party, of the legality of the expropriation and of the valuation of their investment, in accordance with the principles set out in this Article.
2. The compensation shall be equivalent to the fair market value of the expropriated investment immediately before the expropriation was publicly announced or immediately before the expropriation occurred, whichever is earlier. The fair market value shall not reflect any change in value occurring because the expropriation had become publicly known earlier.
3. The compensation shall be paid without delay and shall include interest at a commercially reasonable rate accrued from the date of expropriation until the date of payment and shall be effectively realizable and freely transferable.
4. Payments shall be made in a freely usable currency, and the compensation paid shall include interest, at a commercially reasonable rate for that currency, accrued from the date of expropriation until the date of payment.
5. This Article does not apply to authorization of a Contracting Party for use of intellectual property rights in accordance with the TRIPS Agreement.

イスラエルとの投資協定

第十二条 損失又は損害に対する補償

1 一方の締約国は、武力紛争又は自国の領域における革命、暴動、国内争乱若しくはこれらに類する事件その他の緊急事態により、自国の領域にある投資財産に関して損失又は損害を被った他方の締約国の投資家に対し、原状回復、損害賠償、補償その他の解決方法に關し、自国の投資家又は第三国の投資家に与える待遇のうち当該他方の締約国の投資家にとっていずれか有利なものよりも不利でない待遇を与える。

2 1に規定する解決方法の手段としての支払が行われる場合には、当該支払については、実際に換償すること、自由に移転すること及び市場における為替相場により自由利用可能通貨に自由に交換することができるものとする。

3 いずれの一方の締約国も、第十五条2の規定に従ってとる措置を理由として、1の規定に基づく義務を免除されない。

第十三条 代位

1 一方の締約国又はその指定する機関が、自国の投資家に対し、他方の締約国の領域にある当該投資家の投資財産に關する損害の填補に係る契約、保証契約又は保険契約に基づいて支払を行う場合には、当該他方の締約国は、次の事項の承認を行う。

(a) 当該支払の前提となった、当該投資財産に關する当該投資家の権利又は請求権を当該一方の締約国又はその指定する機関へ移転すること。

(b) 当該一方の締約国又はその指定する機関が、代位により、当該投資家の当初の権利又は請求権と内容及び範囲において同じ権利又は請求権を行使する権利を有すること。

2 一方の締約国又はその指定する機関は、いかなる状況の下においても、次に掲げる待遇又は支払について、1に規定する投資家がこの協定に基づき投資財産に關して受ける待遇又は支払と同一のものを受ける権利を有する。

Article 12  
Compensation for Losses or Damages

1. Each Contracting Party shall accord to investors of the other Contracting Party that have suffered loss or damage relating to their investments in the Territory of the former Contracting Party due to armed conflict or a state of emergency such as a revolution, insurrection, civil disturbance or any other similar event in the Territory of that former Contracting Party, treatment, as regards restitution, indemnification, compensation or any other settlement, that is no less favorable than that which it accords to its own investors or to investors of a non-Contracting Party, whichever is more favorable to the investors of the other Contracting Party.

2. Any payment as a means of settlement referred to in paragraph 1 shall be effectively realizable, freely transferable and freely convertible at the market exchange rate into freely usable currencies.

3. Neither Contracting Party shall be derogated from its obligation under paragraph 1 by reason of its measures taken pursuant to paragraph 2 of Article 15.

Article 13  
Subrogation

1. If a Contracting Party or its designated agency makes a payment to an investor of the Contracting Party pursuant to an indemnity, guarantee or insurance contract pertaining to an investment of that investor within the Territory of the other Contracting Party, that other Contracting Party shall recognize:

(a) the assignment, to the former Contracting Party or its designated agency, of any right or claim of the investor in respect of such investment, that formed the basis of such payment; and

(b) the right of the former Contracting Party or its designated agency to exercise by virtue of subrogation such right or claim to the same extent as the original right or claim of the investor.

2. The former Contracting Party or its designated agency shall be entitled in all circumstances to:



## 資金の移転

(a) 1に規定する移転によって取得した権利及び請求権に関する待遇

(b) (a)に規定する権利及び請求権に基づく支払

### 第十四条 資金の移転

1 一方の締約国は、自国の領域にある他方の締約国の投資家の投資財産に関連する全ての資金の移転が、自国の領域に向け又は自国の領域から、自由に、かつ、遅滞なく行われることを認める。この資金の移転には、特に次のものの移転を含める。

(a) 当初の資金及び投資財産を維持し、又は増大させるための追加的な資金

(b) 利益、利子、資本利得、配当、使用料、手数料その他の投資財産から生ずる収益

(c) 融資の返済その他の契約に基づいて行われる投資財産に関連する支払

(d) 投資財産の全部又は一部の売却又は清算によって得られる収入

(e) 当該一方の締約国の領域にある投資財産に関連する活動に従事する当該一方の締約国外から赴任した従業員が得た収入その他の報酬

(f) 第十一条及び第十二条の規定に従って行われる支払

(g) 紛争の結果として生ずる支払

2 各締約国は、更に、資金の移転が遅滞なく、かつ、自由利用可能通貨により当該資金の移転の日の市場における為替相場で行われることを確保する。

3 1及び2の規定にかかわらず、締約国は、次の事項に関する自国の法令を衡平、無差別かつ誠実に適用する場合には、資金の移転を遅らせ、又は妨げることができる。

### イスラエルとの投資協定

(a) the same treatment in respect of the rights and claims acquired by it by virtue of the assignment referred to in paragraph 1; and

(b) the same payments due pursuant to those rights and claims,

as the investor referred to in paragraph 1 was entitled to receive by virtue of this Agreement in respect of the investment.

### Article 14 Transfers

1. Each Contracting Party shall allow all transfers relating to investments in its territory of an investor of the other Contracting Party to be made freely into and out of its territory without delay. Such transfers shall include, in particular, though not exclusively:

(a) the initial capital and additional amounts to maintain or increase investments;

(b) profits, interest, capital gains, dividends, royalties, fees or other current incomes accruing from investments;

(c) payments made under a contract including loan payments in connection with investments;

(d) proceeds of the total or partial sale or liquidation of investments;

(e) earnings and remuneration of personnel from abroad who work in connection with investments in the territory of the former Contracting Party;

(f) payments made in accordance with Articles 11 and 12; and

(g) payments arising out of a dispute.

2. Each Contracting Party shall further ensure that such transfers may be made without delay in freely usable currencies at the market exchange rate prevailing on the date of the transfer.

3. Notwithstanding paragraphs 1 and 2, a Contracting Party may delay or prevent a transfer through the equitable, non-discriminatory and good-faith application of its laws and regulations relating to:

イスラエルとの投資協定

- (a) 破産、支払不能又は債権者の権利の保護
- (b) 証券、先物、オプション又は派生商品の発行、交換又は取引
- (c) 刑事犯罪
- (d) 法執行当局又は金融規制当局を支援するために必要である場合には、通貨その他の支払手段の移転に関する報告又は記録の保存
- (e) 裁決手続における命令又は判決の履行の確保

第十五条 一般的例外及び安全保障のための例外

一般的例外及び安全保障のための例外

1 この協定のいかなる規定も、一方の締約国が次の措置を採用し、又は実施することを妨げるものと解してはならない。ただし、これらの措置を、自国の領域における他方の締約国の投資家及びその投資財産に対する恣意的若しくは不当な差別の手段又は偽装した制限となるような態様で適用しないことを条件とする。

- (a) 人、動物又は植物の生命又は健康の保護のために必要な措置  
注釈 この例外には、環境に関する措置であって、人、動物又は植物の生命又は健康の保護のために必要なものを含む。
- (b) 公衆の道徳の保護又は公の秩序の維持のために必要な措置。もっとも、公の秩序を理由とする例外は、社会のいずれかの基本的な利益に対し真正かつ重大な脅威がもたらされる場合に限り、援用することができ。
- (c) この協定に反しない法令の遵守を確保するために必要な措置。この措置には、次の事項に関する措置を含む。
- (i) 欺まんの若しくは詐欺的な行為の防止又は契約の不履行がもたらす結果の処理

- (a) bankruptcy, insolvency or the protection of the rights of creditors;
- (b) issuing, trading or dealing in securities, futures, options or derivatives;
- (c) criminal or penal offenses;
- (d) reporting or record keeping of transfers of currency or other monetary instruments when necessary to assist law enforcement or financial regulatory authorities; or
- (e) ensuring compliance with orders or judgments in adjudicatory proceedings.

Article 15  
General and Security Exceptions

1. Subject to the requirement that such measures are not applied by a Contracting Party in a manner which would constitute a means of arbitrary or unjustifiable discrimination against, or a disguised restriction on investments of the other Contracting Party and their Party, nothing in this Agreement shall be construed so as to prevent the former Contracting Party from adopting or enforcing measures:

- (a) necessary to protect human, animal or plant life or health;  
Note: This exception includes environmental measures necessary to protect human, animal or plant life or health.
- (b) necessary to protect public morals or to maintain public order, provided that the public order exception may only be invoked where a genuine and sufficiently serious threat is posed to one of the fundamental interests of society;
- (c) necessary to secure compliance with the laws or regulations which are not inconsistent with the provisions of this Agreement including those relating to:
  - (1) the prevention of deceptive and fraudulent practices or to deal with the effects of a default on contract;

(ii) 個人の情報を処理し、及び公表することに関連するプライバシーの保護又は個人の記録及び勘定の秘密の保護

(iii) 安全

(d) 美術的、歴史的又は考古学的価値のある国家的財産の保護のためにとる措置

(e) 有限天然資源（生物であるか非生物であるかを問わない。）の保存に関する措置。ただし、この措置が国内の生産又は消費に対する制限と関連して実施される場合に限る。

2 第十二条 3 の規定に従うことを条件として、この協定のいかなる規定も、締約国が次の措置を採用し、又は実施することを妨げるものと解してはならない。

(a) 自国の安全保障上の重大な利益の保護のために必要であると認める次の措置

(i) 国際的又は非国際的な武力紛争の時その他の自国内又は国際関係における緊急時にとる措置

(ii) 兵器の不拡散に係る国内政策又は国際協定の実施に関連してとる措置

(b) 国際の平和及び安全の維持のため国際連合憲章に基づく義務に従ってとる措置

第十六条 一時的なセーフガード措置

1 いずれの締約国も、次のいずれかの場合には、国境を越える資本取引及び投資財産に関連する取引のための支払又は資金の移転について制限的な措置を採用し、又は維持することができ、

(a) 国際収支及び対外支払に関して重大な困難が生じている場合又は生ずるおそれがある場合

(iii) the protection of the privacy of the individual in relation to the processing and dissemination of personal data and the protection of confidentiality of personal records and accounts; or

(iii) safety;

(d) imposed for the protection of national treasures of artistic, historic or archaeological value; or

(e) relating to the conservation of living or non-living exhaustible natural resources if such measures are made effective in conjunction with restrictions on domestic production or consumption.

2. Subject to paragraph 3 of Article 12, nothing in this Agreement shall be construed to prevent a Contracting Party from adopting or enforcing measures:

(a) which it considers necessary for the protection of its essential security interests:

(i) taken in time of international or non-international armed conflict, or other emergency in that Contracting Party or in international relations; or

(ii) relating to the implementation of national policies or international agreements respecting the non-proliferation of weapons; or

(b) in pursuance of its obligations under the United Nations Charter for the maintenance of international peace and security.

Article 16  
Temporary Safeguard Measures

1. A Contracting Party may adopt or maintain restrictive measures with regard to cross-border capital transactions as well as payments or transfers for transactions related to investments:

(a) in the event of serious balance-of-payments and the external financial difficulties or threat thereof; or



イスラエルとの投資協定

- (b) 資本の移動が経済全般の運営、特に通貨及び外国為替に係る政策に重大な困難をもたらし、又はまたらすおそれがある例外的な場合
- 2 1に規定する制限的な措置は、次の全ての要件を満たすものとする。
- (a) 他方の締約国に対し、第三国よりも不利でない待遇を与えるよう適用されるものであること。
- (b) 国際通貨基金協定に適合するものであること。
- (c) 1に規定する状況に対処するために必要な限度を超えないものであること。
- (d) 一時的なものであり、かつ、1に規定する状況が改善するに伴い漸進的に廃止されるものであること。
- (e) 他方の締約国に対し、速やかに通報されるものであること。
- (f) 他方の締約国の商業上、経済上又は金融上の利益に対して不必要な損害を与えることを避けるものであること。
- 3 一方の締約国は、1の規定に基づく措置を適用した場合において、他方の締約国の要請があったときは、自国が採用する制限の見直しのため、当該他方の締約国と協議を開始する。

第十七条 信用秩序の維持のための措置

- 1 この協定の他の規定にかかわらず、締約国は、信用秩序の維持のための金融サービスに関連する措置（投資家、預金者、保険契約者若しくは信託上の義務を金融サービスを提供する企業が負う者を保護し、又は金融システムの健全性及び安定性を確保するための措置を含む。）をとることを妨げられない。
- 2 締約国は、1の規定に基づいてとる措置がこの協定に適合しない場合には、当該措置をこの協定に基づく当該締約国の義務を回避するための手段として用いてはならない。

- (b) in exceptional cases where movements of capital cause or threaten to cause serious difficulties for macroeconomic management, in particular monetary and exchange rate policies.
2. Restrictive measures referred to in paragraph 1 shall:
- (a) be applied in such a manner that the other Contracting Party is treated no less favorably than any non-Contracting Party;
- (b) be consistent with the Articles of Agreement of the International Monetary Fund;
- (c) not exceed those necessary to deal with the circumstances set out in paragraph 1;
- (d) be temporary and be phased out progressively as the situation specified in paragraph 1 improves;
- (e) be promptly notified to the other Contracting Party; and
- (f) avoid unnecessary damages to the commercial, economic and financial interests of the other Contracting Party.
3. The Contracting Party which has adopted any measures under paragraph 1 shall, upon request, commence consultations with the other Contracting Party in order to review the restrictions adopted by it.

Article 17  
Prudential Measures

1. Notwithstanding any other provisions of this Agreement, a Contracting Party shall not be prevented from taking measures relating to financial services for prudential reasons, including measures for the protection of investors, depositors, policy holders or persons to whom a fiduciary duty is owed by an enterprise supplying financial services, or to ensure the integrity and stability of its financial system.
2. Where the measures taken by a Contracting Party pursuant to paragraph 1 do not conform with this Agreement, they shall not be used as a means of avoiding the obligations of the Contracting Party under this Agreement.

第十八条 知的財産権

1 両締約国は、貿易関連知的所有権協定に基づく権利及び義務を認め、並びに知的財産の保護に関する制度の効率性及び透明性を促進する。この目的のため、両締約国は、いずれか一方の締約国の要請があった場合には、速やかに相互に協議する。一方の締約国は、他方の締約国の投資家の投資財産に悪影響を及ぼしているとその協議において認められる要因を除去するために、その協議の結果に基づき、自国の法令に従い、適当な措置をとる。

2 この協定のいかなる規定も、知的財産権の保護に関する多数国間協定であって両締約国が当事国であるものに基づく両締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。

3 この協定のいかなる規定も、いずれか一方の締約国に対し、知的財産権の保護に関する現行の又は将来における二国間又は多数国間の協定であって自国が当事国であるものにより第三国の投資家及びその投資財産に与えている待遇を、他方の締約国の投資家及びその投資財産に与える(とを義務付けるものと解してはならない。ただし、当該一方の締約国が貿易関連知的所有権協定に従う(ことを条件とする。

第十九条 租税に係る課税措置

1 この章のいかなる規定も、3に規定する条項を除くほか、租税に係る課税措置について義務を課するものではない。

2 この協定のいかなる規定も、租税条約に基づく締約国の権利及び義務に影響を及ぼすものではない。この協定と当該租税条約とが抵触する場合には、抵触する限りにおいて、当該租税条約が優先する。

3 第四条、第五条、第九条及び第十一条の規定は、租税に係る課税措置について適用する。

Article 18  
Intellectual Property Rights

1. The Contracting Parties recognize their rights and obligations under the TRIPS Agreement, and promote efficiency and transparency in intellectual property protection system. For this purpose, the Contracting Parties shall promptly consult with each other at the request of either Contracting Party. Depending on the results of the consultation, each Contracting Party shall, in accordance with its laws and regulations, take appropriate measures to remove the factors which are recognized in the consultation as having adverse effects to the investments of investors of the other Contracting Party.

2. Nothing in this Agreement shall affect the rights and obligations of the Contracting Parties under multilateral agreements in respect of protection of intellectual property rights to which the Contracting Parties are parties.

3. Nothing in this Agreement shall be construed so as to oblige either Contracting Party to extend to investors of the other Contracting Party and to their investments treatment accorded to investors of a non-Contracting Party and to their investments by virtue of any existing or future bilateral or multilateral agreements in respect of protection of intellectual property rights, to which the former Contracting Party is a party, provided that the former Contracting Party complies with the TRIPS Agreement.

Article 19  
Taxation Measures

1. Nothing in this Section shall impose obligations with respect to taxation measures except as expressly provided in paragraph 3.

2. Nothing in this Agreement shall affect the rights and obligations of either Contracting Party under any tax convention. In the event of any inconsistency between this Agreement and any such convention, that convention shall prevail to the extent of the inconsistency.

3. Articles 4, 5, 9 and 11 shall apply to taxation measures.

イスラエルとの投資協定

第二十条 健康、安全及び環境に関する措置並びに労働基準

一方の締約国は、健康、安全、環境及び労働基準に関する自国の国内法令の緩和を通じて他方の締約国の投資家及び第三国の投資家による投資活動を奨励することが適当でないことを認める。

第二十一条 利益の否認

1 一方の締約国は、他方の締約国の投資家であつて当該他方の締約国の企業であるものを第三国の者が所有し、又は支配しており、かつ、次のいずれかの場合に該当するときは、当該他方の締約国の投資家及びその投資財産に対し、この協定による利益を否認することができず。

(a) 当該一方の締約国が当該第三国と外交関係を有していない場合

(b) 当該第三国又は当該第三国の者に関する措置であつて、当該他方の締約国の企業との取引を禁止するもの又は当該他方の締約国の企業若しくはその投資財産に対してこの協定による利益を与えることにより当該措置に違反し、若しくは当該措置を阻害することとなるものを当該一方の締約国が採用し、又は維持する場合

2 この条の規定の適用上、

(a) 企業が投資家によつて「所有」されるとは、当該投資家が当該企業の五十パーセントを超える持分を受益者として所有する場合をいう。

(b) 企業が投資家によつて「支配」されるとは、当該投資家が当該企業の役員の過半数を指名し、又は当該企業の活動につき法的に指示する権限を有する場合をいう。

第二十二条 逸脱の禁止

この協定のいかなる規定も、両締約国の投資家の投資財産及び投資活動についてこの協定を与える待遇よりも有利な待遇を与える次のものに影響を及ぼすものと解してはならない。

(a) いずれか一方の締約国の法令、行政上の慣行若しくは手続又は行政上若しくは司法上の決定

Article 20  
Health, Safety and Environmental Measures  
and Labor Standards

Each Contracting Party recognizes that it is inappropriate to encourage investment activities of investors of the other Contracting Party and of a non-Contracting Party by relaxing its domestic health, safety, environmental and labor standards legislation.

Article 21  
Denial of Benefits

1. A Contracting Party may deny the benefits of this Agreement to an investor of the other Contracting Party that is an enterprise of such other Contracting Party and to investments of that investor if persons of a non-Contracting Party own or control the enterprise and the denying Contracting Party:

(a) does not maintain diplomatic relations with the non-Contracting Party; or

(b) adopts or maintains measures with respect to the non-Contracting Party or a person of the non-Contracting Party that prohibit transactions with the enterprise or that would be violated or circumvented if the benefits of this Agreement were accorded to the enterprise or to its investments.

2. For the purpose of this Article, an enterprise is:

(a) "owned" by an investor if more than 50 percent of the equity interest in it is beneficially owned by the investor; and

(b) "controlled" by an investor if the investor has the power to name a majority of its directors or otherwise to legally direct its actions.

Article 22  
Non Derogation

Nothing in this Agreement shall be construed so as to derogate from:

(a) laws and regulations, administrative practices or procedures, or administrative or judicial decisions of either Contracting Party;

利益の否認

健康、安全、環境、労働基準に関する措置並びに労働基準

逸脱の禁止

(b) 両締約国間において効力を有する国際協定に基づく義務

(c) いずれか一方の締約国の投資家が行う投資に関して他方の締約国が義務を負ったこととなった場合には、当該義務

## 第二章 紛争解決

### 第二十三条 両締約国間の紛争の解決

1 一方の締約国は、この協定の解釈又は適用に関する他方の締約国との紛争に関し、外交上の経路を通じて、協議のための適当な機会を与える。

2 この協定の解釈及び適用に関する両締約国間の紛争であつて、当該紛争の通告から六箇月の期間内に1の規定による外交交渉によつても満足な調整に至らなかつたものは、いずれか一方の締約国の要請があつた場合には、仲裁委員会に決定のため付託する。

3 この条に別段の定めがある場合又は両締約国間の別段の合意がある場合を除くほか、仲裁委員会の手続については、UNCITRAL仲裁規則を準用する。ただし、両締約国は、準用されるUNCITRAL仲裁規則を修正することができるものとし、4の規定に従つて任命された仲裁委員は、両締約国が合意する場合には、準用されるUNCITRAL仲裁規則を修正することができる。仲裁委員会は、自己の規則及び手続を定めることができる。

(b) obligations under the international agreements which are in force between the Contracting Parties; or

(c) obligations which either Contracting Party may have entered into with regard to investments made by an investor of the other Contracting Party,

that entitle investments and investment activities of investors of the Contracting Parties to treatment more favorable than that accorded by this Agreement.

## SECTION II DISPUTE SETTLEMENT

### Article 23

Settlement of Dispute between the Contracting Parties

1. Each Contracting Party shall afford adequate opportunity for consultation, through diplomatic channels, regarding any dispute with the other Contracting Party concerning the interpretation or application of this Agreement.

2. Any dispute between the Contracting Parties as to the interpretation and application of this Agreement, not satisfactorily adjusted by diplomacy in accordance with paragraph 1 within a period of six months from notification of the dispute, shall upon request by either Contracting Party be referred for decision to an arbitration board.

3. Unless otherwise provided for in this Article, or in the absence of an agreement between the Contracting Parties to the contrary, the UNCITRAL Arbitration Rules shall apply mutatis mutandis to the proceedings of the arbitration board. However, these rules may be modified by the Contracting Parties or modified by the arbitrators appointed pursuant to paragraph 4, provided that both Contracting Parties agree to the modification. The arbitration board may, for its part, determine its own rules and procedures.

## イスラエルとの投資協定

4 各紛争当事国は、いずれか一方の締約国が他方の締約国から紛争の仲裁を要請する文書を受領した日から六十日以内に、各一人の仲裁委員を任命する。このようにして任命された二人の仲裁委員は、両締約国の承認により仲裁委員長となる者として任命される第三の仲裁委員を選定する。ただし、当該第三の仲裁委員は、いずれの締約国の国民であつてもならない。仲裁委員長は、他の二人の仲裁委員の任命の日から六十日以内に任命される。全ての仲裁委員は、両締約国と外交関係を有している国の国民とする。仲裁委員会の仲裁委員の任命に関する他の事項については、三人の仲裁委員で構成される仲裁委員会の仲裁委員の任命に適用される UNCITRAL 仲裁規則を準用する。この場合において、UNCITRAL 仲裁規則中の任命権者は、ハーグの常設仲裁裁判所事務総長とする。同事務総長がいずれか一方の締約国の国民である場合又はこの任務を遂行することができない場合には、同裁判所事務次長に対し仲裁委員の任命を行うよう要請する。

5 両締約国が別段の合意をする場合を除くほか、第三の仲裁委員の選定の日から百八十日以内に全ての文書の提出が行われ、かつ、全ての弁論が終了しなければならない。仲裁委員会は、この協定及び対象となる事項に適用可能な国際法の規則に基づき、最後の文書の提出の日又は弁論の終結の日のうちいずれか遅い方の日から六十日以内に投票の過半数による議決で紛争について決定を行う。当該決定は、最終的なものであり、かつ、拘束力を有する。

6 各締約国は、自国が選定した仲裁委員に係る費用及び自国が仲裁に参加する費用を負担する。仲裁委員長がその職務を遂行するための費用及び仲裁委員会の残余の費用は、両締約国が均等に負担する。

### 第二十四条 一方の締約国と他方の締約国の投資家との間の投資紛争の解決

1 申立人と被申立人との間に投資紛争が生ずる場合には、両者は、まず、協議及び交渉（拘束力を有しない第三者による手続の利用を含めることができる。）を通じて、当該投資紛争を解決するよう努めるべきである。

## 三七八

4. Within 60 days from the date of receipt by either Contracting Party from the other Contracting Party of a note requesting arbitration of the dispute, each disputing party shall appoint an arbitrator. The two arbitrators shall select a third arbitrator who, upon approval by both Contracting Parties, shall be appointed as the Chairperson, provided that the third arbitrator shall not be a national of either Contracting Party. The Chairperson shall be appointed within 60 days from the date of appointment of the other two arbitrators. All arbitrators shall be nationals of States having diplomatic relations with both Contracting Parties. The UNCITRAL Arbitration Rules applicable to appointing members of three-member panels shall apply *mutatis mutandis* to other matters relating to the appointment of the arbitrators of the arbitration board provided that the appointing authority referenced in those rules shall be the Secretary-General of the Permanent Court of Arbitration at The Hague. If the Secretary-General is a national of either Contracting Party or otherwise prevented from discharging the said function, the Deputy Secretary-General shall be invited to make the appointment.

5. Unless otherwise agreed by the Contracting Parties, all submissions of documents shall be made and all hearings shall be completed within a period of 180 days from the date of selection of the third arbitrator. The arbitration board shall decide the dispute by a majority of votes in accordance with this Agreement and the rules of international law applicable to the subject matter, within 60 days from the date of the final submissions of documents or the date of the closing of the hearings, whichever is the later. Such decision shall be final and binding.

6. Each Contracting Party shall bear the cost of the arbitrator of its choice and its representation in the arbitral proceedings. The cost of the Chairperson of the arbitration board in discharging his or her duties and the remaining costs of the arbitration board shall be borne equally by the Contracting Parties.

### Article 24 Settlement of Investment Disputes between a Contracting Party and an Investor of the Other Contracting Party

1. In the event of an investment dispute between the claimant and the respondent, they should initially seek to resolve the dispute through consultation and negotiation, which may include the use of non-binding, third-party procedures.

2 協議及び交渉により、申立人が被申立人に対して書面による協議及び交渉の要請を行った日から六箇月以内に投資紛争が解決されない場合には、当該申立人は、この条の規定に従い、次の(a)及び(b)の事項から成る請求を仲裁に付託することができる。

(a) 第九条、第十八条及び第二十条の規定に基づく義務を除くほか、当該被申立人が前章の規定に基づく義務に違反したこと。

(b) (a)に定める違反を理由とする又はその違反から生ずる損失又は損害を当該申立人が被ったこと。

3 申立人は、被申立人に対し、この条の規定による仲裁に請求を付託する少なくとも九十日前に、そのような付託の意図の書面による通知（以下「付託の意図の通知」という。）を送付する。付託の意図の通知には、次の事項を明記する。

(a) 当該申立人の氏名又は名称及び住所

(b) 各請求について、違反があったとされる前章の条項その他関連する条項

(c) 各請求に関する法的根拠及び事実に係る根拠

(d) 当該申立人が求める救済手段及び損害賠償請求額の概算

4 申立人が被申立人に対して書面による協議及び交渉の要請を行った日から六箇月が経過したことを条件として、当該申立人は、2に規定する請求を次のいずれかの仲裁に付託することができる。

(a) ICSID条約による仲裁。ただし、両締約国がICSID条約の当事国である場合に限る。

(b) ICSID追加的制度規則による仲裁。ただし、いずれか一方の締約国のみがICSID条約の当事国である場合に限る。

(c) UNCITRAL仲裁規則による仲裁

(d) 紛争当事者が合意する場合には、他の仲裁機関又は仲裁規則による仲裁

2. In the event that an investment dispute cannot be settled by consultation and negotiation within six months from the date on which the claimant requested in writing the respondent for consultation and negotiation, the claimant may submit to arbitration under this Article a claim:

(a) that the respondent has breached an obligation under Section I, except an obligation under Articles 9, 18 and 20; and

(b) that the claimant has incurred loss or damage by reason of, or arising out of, that breach.

3. At least 90 days before submitting any claim to arbitration under this Article, a claimant shall deliver to the respondent a written notice of its intention to submit the claim to arbitration (hereinafter referred to as "notice of intent"). The notice of intent shall specify:

(a) the name and address of the claimant;

(b) for each claim, the provision of Section I alleged to have been breached and any other relevant provisions;

(c) the legal and factual basis for each claim; and  
(d) the relief sought and the approximate amount of damages claimed.

4. Provided that six months have elapsed since the claimant requested in writing the respondent for consultation and negotiation, the claimant may submit a claim referred to in paragraph 2 to the arbitration:

(a) under the ICSID Convention, provided that both Contracting Parties are parties to the ICSID Convention;

(b) under the ICSID Additional Facility Rules, provided that either Contracting Party, but not both, is a party to the ICSID Convention;

(c) under the UNCITRAL Arbitration Rules; or

(d) if the disputing parties agree, under any other arbitration institution or arbitration rules.



- 5 この条の規定による仲裁については、請求は、次のいずれかの時に付託されたものとみなす。
- (a) ICSID条約第三十六条1に規定する仲裁の請求をICSID事務局長が受領した時
  - (b) ICSID追加的制度規則付表C第二条に規定する仲裁の請求をICSID事務局長が受領した時
  - (c) UNCITRAL仲裁規則第三条に規定する仲裁に関する通知を、UNCITRAL仲裁規則第二十条に規定する請求の陳述書とともに被申立人が受領した時
  - (d) 4(d)の規定により、他の仲裁機関又は仲裁規則による仲裁が選択された場合には、当該仲裁に関する通知を被申立人が受領した時。ただし、当該仲裁機関又は当該仲裁規則において別段の定めがある場合は、この限りでない。
- 6 (a) 各締約国は、この条の規定による仲裁にこの協定の規定に従って請求を付託することに同意する。
- (b) (a)の規定による同意及びこの条の規定による仲裁への請求の付託は、次の(i)及び(ii)の要件を満たすものとする。
    - (i) ICSID条約第二章の規定又はICSID追加的制度規則の規定であつて、両当事者の書面による同意に関するもの
    - (ii) 書面による合意に関するニューヨーク条約第二条の規定
- 7 6の規定にかかわらず、この条の規定による仲裁への請求の付託は、申立人が、2の規定により主張される違反が発生した事及び当該申立人が損失又は損害を被った事を知つた又は知るべきであつた最初の日から三年が経過した場合には、行うことができない。
- 8 この条の規定による仲裁への請求の付託は、次の(a)及び(b)の条件を満たす場合を除くほか、行うことができない。
- (a) 申立人が、この条に定める手続に従つて仲裁が行われる前に、書面により同意すること。

5. A claim shall be deemed submitted to arbitration under this Article when the claimant's notice of or request for arbitration:
- (a) referred to in paragraph 1 of Article 36 of the ICSID Convention is received by the Secretary-General of ICSID;
  - (b) referred to in Article 2 of Schedule C of the ICSID Additional Facility Rules is received by the Secretary-General of ICSID;
  - (c) referred to Article 3 of the UNCITRAL Arbitration Rules, together with the statement of claim referred to in Article 20 of the UNCITRAL Arbitration Rules, is received by the respondent; or
  - (d) under any other arbitration institution or arbitration rules selected under subparagraph 4(d) is received by the respondent, unless otherwise specified by such institution or in such rules.
6. (a) Each Contracting Party hereby consents to the submission of a claim to arbitration under this Article in accordance with this Agreement.
- (b) The consent under subparagraph (a) and the submission of a claim to arbitration under this Article shall satisfy the requirements of:
    - (i) Chapter II of the ICSID Convention or the ICSID Additional Facility Rules for written consent of the parties; and
    - (ii) Article II of the New York Convention for an agreement in writing.
7. Notwithstanding paragraph 6, no claim may be submitted to arbitration under this Article if more than three years have elapsed from the date on which the claimant first acquired, or should have first acquired, knowledge of the breach alleged under paragraph 2 and knowledge that the claimant has incurred loss or damage.
8. No claim may be submitted to arbitration under this Article unless the claimant:
- (a) consents in writing to arbitration in accordance with the procedures set out in this Article; and

(b) 申立人が、いずれか一方の締約国の法律の下にある行政裁判所若しくは司法裁判所又は他の紛争解決手続において、このような仕組みにより紛争の対象となる事項に関する判決又は裁定が与えられる前に、2(a)に規定する違反を構成するとされる措置に関する手続を開始し、又は継続する権利を書面により放棄すること。

9 8 (b)の規定に従って行われる放棄は、仲裁廷が3、4、7及び8に規定する要件が満たされないこと又は他の手続上の若しくは管轄権に関する根拠に基づいて請求を却下する場合には、適用されなくなる。

10 8 (b)の規定にかかわらず、申立人は、被申立人の法律の下にある行政裁判所又は司法裁判所において、暫定的な差止めによる救済（損害賠償の支払を伴わないものに限る。）の申立てを行い、又は当該申立てに係る手続を継続することができ。

11 4の規定により設置される仲裁廷は、この協定及び関係する国際法の規則に従い、係争中の事案について決定する。

12 被申立人は、この条の規定に基づく仲裁において、抗弁、反対請求若しくは相殺として、又はその他の目的のために、申立人が申し立てられた損害の全部又は一部に対する填補その他の補償を保険契約又は保証契約に基づいて既に受領したこと又は将来受領すること（これを主張してはならない）。

13 仲裁廷は、次の事項についてのみ裁定を下すことができる。

(a) 被申立人が、申立人及びその投資財産に関し、前章の規定に基づく義務に違反したかどうか。

(b) 違反があった場合には、次の(i)又は(ii)に規定する救済措置のいずれか一方又は双方

(i) 損害賠償及び適当な利子

(ii) 原状回復。この場合の裁定においては、被申立人が原状回復に代えて損害賠償及び適当な利子を支払うことができることを定めるものとする。

(b) waives in writing any right to initiate or continue before any administrative tribunal or court of justice under the law of either Contracting Party, or other dispute settlement procedures, any proceedings with respect to any measure alleged to constitute a breach referred to in subparagraph 2(a) before any judgment or award has been delivered on the subject matter of the dispute under the abovementioned mechanisms.

9. The waiver provided pursuant to subparagraph 8(b) shall cease to apply where the arbitral tribunal rejects the claim on the basis of a failure to meet the requirements of paragraph 3, 4, 7 or 8, or on any other procedural or jurisdictional grounds.

10. Notwithstanding subparagraph 8(b), the claimant may initiate or continue an action that seeks interim injunctive relief that does not involve the payment of monetary damages before an administrative tribunal or court of justice under the law of the respondent.

11. An arbitral tribunal established under paragraph 4 shall decide the issues in dispute in accordance with this Agreement and applicable rules of international law.

12. In an arbitration under this Article, the respondent shall not assert, as a defense, counterclaim, right of setoff or otherwise, that the claimant has received or will receive indemnification or other compensation for all or part of the alleged damages pursuant to an insurance or guarantee contract.

13. The arbitral tribunal may award only:

(a) a judgment whether or not there has been a breach by the respondent of any obligation under Section I with respect to the claimant and its investments; and

(b) one or both of the following remedies, only if there has been such a breach:

(i) monetary damages and applicable interest; and

(ii) restitution of property, in which case the award shall provide that the respondent may pay monetary damages and any applicable interest, in lieu of restitution.



イスラエルとの投資協定

仲裁廷は、申立人及びその投資財産に関し、被申立人の法令に基づく義務に当該被申立人が違反したかどうかに関する決定を下してはならない。ただし、この規定は、(a)に規定する仲裁廷の権限を害するものではない。

仲裁廷は、仲裁に係る費用及び代理人の報酬についても、関係する仲裁規則に従って裁定を下すことができる。

14 被申立人は、次に掲げる情報を除くほか、4の規定により設置される仲裁廷に提出され、又は当該仲裁廷が発する全ての文書（裁定を含む。）を時宜を失することなく公に入手可能なものにするべきである。

(a) 業務上の秘密の情報

(b) いずれかの締約国の法令により、特に秘密とされ、又は他の方法により開示から保護される情報

(c) 関連する仲裁規則に従って不開示としなければならない情報

(d) その開示が法令の実施を妨げる情報

(e) その開示が自国の安全保障上の重大な利益に反すると当該被申立人が認める情報

15 仲裁地は、紛争当事者が別段の合意をする場合を除くほか、ニューヨーク条約の当事国の国内とする。

16 仲裁廷の裁定は、最終的なものであり、かつ、紛争当事者を拘束する。当該裁定は、執行が求められている国における有効な裁定の執行に関する関係法令及び関連する国際法（ICSID条約及びニューヨーク条約を含む。）に従って執行される。

第二十五章 文書の送達

1 この章の規定による仲裁に関する通知その他の文書は、次の送達先への交付により締約国に送達する。

文書の送達

Without prejudice to the competence of the tribunal referred to in subparagraph (a), the arbitral tribunal shall not award a decision whether or not there has been a breach by the respondent of any obligation under the legislation of the respondent with respect to the claimant and its investments.

The arbitral tribunal may also award cost and attorney's fees in accordance with applicable arbitration rules.

14. The respondent may make available to the public in a timely manner all documents, including an award, submitted to, or issued by, an arbitral tribunal established under paragraph 4, subject to redaction of:

(a) confidential business information;

(b) information which is privileged or otherwise protected from disclosure under the laws and regulations of either Contracting Party;

(c) information which shall be withheld pursuant to the relevant arbitration rules;

(d) information the disclosure of which would impede law enforcement; and

(e) information the disclosure of which it considers to be contrary to its essential security interests.

15. Unless the disputing parties agree otherwise, the place of arbitration shall be in a country that is a party to the New York Convention.

16. The award rendered by the arbitral tribunal shall be final and binding upon the disputing parties. This award shall be executed in accordance with the applicable laws and regulations, as well as relevant international law including the ICSID Convention and the New York Convention, concerning the execution of award in force in the country where such execution is sought.

Article 25  
Service of Documents

1. Notices and other documents relating to arbitration under this Section shall be served on a Contracting Party by delivery to:

(a) 日本国については、外務省経済局

(b) イスラエル国については、財務省国際部又はその後継機関

2 一方の締約国は、1に規定する当局の名称の変更を速やかに公に入手可能なものとし、他方の締約国に通報する。

3 各締約国は、1及び2に規定する自国の当局の住所を公に入手可能なものとする。

第三章 合同委員会

第二十六条 合同委員会

1 両締約国は、この協定の目的を達成するため、次のことを任務とする合同委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(a) この協定の実施及び運用について討議し、及び見直しを行うこと。

(b) 第八条1の規定に従って維持され、改正され、又は修正された適合しない措置について、その削減又は撤廃に寄与することを目的として見直しを行うこと。

(c) 第八条2の規定に従って採用され、又は維持された適合しない措置について、両締約国の投資家にとり良好な条件の整備を促進することを目的として討議すること。

(d) この協定の範囲内の投資に関連する事項であつて投資環境の整備と関係するものについて情報を交換し、及び討議すること。

(e) 投資に関する合意に関して、いずれかの締約国が提起するあらゆる問題について検討すること。

イスラエルとの投資協定

(a) with respect to Japan, Economic Affairs Bureau, the Ministry of Foreign Affairs; and

(b) with respect to the State of Israel, International Affairs Department, the Ministry of Finance or its successors.

2. A Contracting Party shall promptly make publicly available and notify to the other Contracting Party any change to the name of the authority referred to in paragraph 1.

3. Each Contracting Party shall make publicly available the address of its authority referred to in paragraphs 1 and 2.

SECTION III  
JOINT COMMITTEE

Article 26  
Joint Committee

1. The Contracting Parties shall establish a Joint Committee (hereinafter referred to as "the Committee") with a view to accomplishing the objectives of this Agreement. The functions of the Committee shall be:

(a) to discuss and review the implementation and operation of this Agreement;

(b) to review the non-conforming measures maintained, amended or modified pursuant to paragraph 1 of Article 8 for the purpose of contributing to the reduction or elimination of such non-conforming measures;

(c) to discuss the non-conforming measures adopted or maintained pursuant to paragraph 2 of Article 8 for the purpose of encouraging favorable conditions for investors of the Contracting Parties;

(d) to exchange information on and to discuss investment-related matters within the scope of this Agreement which relate to improvement of investment environment;

(e) to consider any issues raised by either Contracting Party concerning investment agreements; and

## イスラエルとの投資協定

(f) 投資に関連するその他の事項であつてこの協定に關係するものについて討論する。

2 委員会は、必要に応じ、この協定の機能を強化し、又はこの協定の目的を達成するため方式による決定により、両締約国に対して適当な勧告を行うことができる。

3 委員会は、両締約国の代表者から成る。委員会は、両締約国の同意が得られる場合には、両締約国の政府以外の關係団体の代表者であつて、討論する問題に關連する必要な専門知識を有するものを招請すること及び民間部門との共同会合を開催することができる。

4 委員会は、任務を遂行するため自己の手続規則を定める。

5 委員会は、小委員会を設置し、当該小委員会に対して特定の作業を委任することができる。

6 委員会は、一方の締約国の要請があつた場合には、会合する。

### 第四章 最終規定

#### 第二十七条 見出し

この協定中の章及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであつて、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

#### 第二十八条 最終規定

1 両締約国は、この協定の効力発生のために必要とされる国内手続の完了を外交上の経路を通じて書面により相互に通告する。この協定は、双方の通告が受領された日のうちいずれか遅い方の日の後三十日目の日に効力を生ずる。この協定は、この協定の効力発生の後十年の期間効力を有するものとし、その後は、2に定めるところに従つて終了する時まで引き続き効力を有する。

(f) to discuss any other investment-related matters concerning this Agreement.

2. The Committee may, as necessary, make appropriate recommendations by consensus to the Contracting Parties for the more effective functioning of the attainment of the objectives of this Agreement.

3. The Committee shall be composed of representatives of the Contracting Parties. The Committee may, upon mutual consent of the Contracting Parties, invite representatives of relevant entities other than the Governments of the Contracting Parties with the necessary expertise relevant to the issues to be discussed, and hold joint meetings with the private sectors.

4. The Committee shall determine its own rules of procedure to carry out its functions.

5. The Committee may establish sub-committees and delegate specific tasks to such sub-committees.

6. The Committee shall meet upon the request of either Contracting Party.

### SECTION IV FINAL PROVISIONS

#### Article 27 Headings

The headings of the Sections and Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

#### Article 28 Final Provisions

1. The Contracting Parties shall notify each other, in writing through diplomatic channels, of the completion of their respective internal procedures necessary for the entry into force of this Agreement. This Agreement shall enter into force on the 30th day after the latter of the dates of receipt of the notifications. It shall remain in force for a period of 10 years after its entry into force and shall continue in force unless terminated as provided for in paragraph 2.

2 いずれの一方の締約国も、外交上の経路を通じて一年前に他方の締約国に対して書面による通告を行うことにより、最初の十年の期間の終わりに、又はその後いつでも、この協定を終了させることができる。

3 両締約国は、いずれか一方の締約国の要請により、この協定のいかなる改正についても合意するものができる。いかなる改正も、両締約国によりそれぞれの国内手続に従って承認され、両締約国が合意する日に効力を生ずるものとし、その後はこの協定の不可分の一部を成す。

4 この協定は、一方の締約国の投資家の投資財産であって、この協定の効力発生の前に他方の締約国の領域において当該他方の締約国の法令に従って形成されたものについても適用する。

5 この協定の終了の日の前に形成された投資財産に関しては、この協定の規定は、この協定の終了の日から更に十年の期間引き続き効力を有する。

6 この協定は、この協定の効力発生の前に生じた事態に起因する紛争については、適用しない。

7 附属書は、この協定の不可分の一部を成す。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。

二千十七年二月一日に東京で、英語により本書一通を作成した。

日本国に代わる日本国政府のために

岸田文雄

イスラエル国に代わるイスラエル国政府のために

M・カハロン

イスラエルとの投資協定

2. A Contracting Party may, by giving one year's advance notice in writing to the other Contracting Party, through diplomatic channels, terminate this Agreement at the end of the initial 10 year period or at any time thereafter.

3. Upon the request of either Contracting Party, the Contracting Parties may agree on any amendment to this Agreement. Any amendment shall be approved by the Contracting Parties in accordance with their respective internal procedures and shall enter into force on such date as the Contracting Parties may agree, and shall thereafter constitute an integral part of this Agreement.

4. This Agreement shall also apply to all investments of investors of either Contracting Party made in the territory of the other Contracting Party in accordance with the laws and regulations of that other Contracting Party prior to the entry into force of this Agreement.

5. In respect of investments made prior to the date of termination of this Agreement, the provisions of this Agreement shall continue to be effective for a period of 10 years from the date of termination of this Agreement.

6. This Agreement shall not apply to disputes arising out of events which occurred prior to its entry into force.

7. The Annexes to this Agreement shall form an integral part of this Agreement.

IN WITNESS WHEREOF, the undersigned, being duly authorized by their respective Governments, have signed this Agreement.

DONE, in duplicate at Tokyo, on this first day of February, 2017 in the English language.

FOR THE GOVERNMENT  
OF JAPAN ON BEHALF  
OF JAPAN:

岸田文雄

FOR THE GOVERNMENT  
OF THE STATE OF ISRAEL  
ON BEHALF OF THE STATE  
OF ISRAEL:

מִכָּלְלוֹת .נ

イスラエルとの投資協定

附属書 I

附属書 I 第八条 1(a)に規定する現行の適合しない措置

第 8 条 1(a)に規定する現行の適合しない措置

1 締約国の表は、次のいずれかの規定により課される義務の一部又は全部に服さない当該締約国の現行の措置について、第八条 1(a)の規定に従って記載するものである。

- (a) 第二条
- (b) 第三条
- (c) 第六条
- (d) 第七条

2 表の留保事項には、次の事項を記載する。

- (a) 分野。「分野」には、留保事項が対象とする分野を示す。
- (b) 小分野。「小分野」には、記載する場合には、留保事項が対象とする個別の小分野を示す。
- (c) 産業分類。「産業分類」には、記載する場合には、適合しない措置の対象となる活動であって国内産業分類又は国際産業分類の下で行われるものを透明性の観点からのみ示す。
- (d) 関連する義務。「関連する義務」には、1 に規定する義務であって、第八条 1(a)の規定に従って掲げられた措置について適用しないものを特定する。
- (e) 措置。「措置」には、留保事項が対象とする法令その他の措置を明示する。「措置」の事項に記載する措置は、(i) この協定の効力発生の日に改正されており、継続しており、又は更新されている措置であり、また、(ii) 当該措置の委任を受けて採用され、又は維持され、かつ、当該措置に適合する補助的な措置を含む。
- (f) 概要。「概要」には、適合しない措置を記載し、又は留保事項が対象とする措置の一般的な、かつ、拘束力のない概要を記載する。

Annex I  
Existing Non-Conforming Measures referred to  
in subparagraph 1(a) of Article 8

1. The Schedule of a Contracting Party sets out, pursuant to subparagraph 1(a) of Article 8, its existing measures that are not subject to some or all of the obligations imposed by:

- (a) Article 2;
- (b) Article 3;
- (c) Article 6; or
- (d) Article 7.

2. Each Schedule entry sets out the following elements:

- (a) "Sector" refers to the sector for which the entry is made;
- (b) "Sub-Sector", where referenced, refers to the specific sub-sector for which the entry is made;
- (c) "Industry Classification", where referenced, and only for transparency purposes, refers to the activity covered by the non-conforming measure, according to domestic or international industry classification codes;
- (d) "Obligations Concerned" specifies the obligations referred to in paragraph 1 that, pursuant to subparagraph 1(a) of Article 8, do not apply to the listed measure(s);
- (e) "Measures" identifies the laws, regulations or other measures for which the entry is made. A measure cited in the "Measures" element:
  - (i) means the measure as amended, continued or renewed as of the date of entry into force of this Agreement, and
  - (ii) includes any subordinate measure adopted or maintained under the authority of and consistent with the measure; and
- (f) "Description" sets out the non-conforming measure or provides a general non-binding description of the measure for which the entry is made.

3 留保事項の解釈に当たっては、当該留保事項に関する全ての事項を考慮する。留保事項は、当該留保事項が付されるこの協定の関連規定に照らして解釈するものとし、「措置」は、他の全ての事項に優先する。

4 この附属書の適用上、「J S I C」とは、総務省が作成し、二千十三年十月三十日に改定した日本標準産業分類の番号をいう。

3. In the interpretation of an entry, all elements of the entry shall be considered. An entry shall be interpreted in the light of the relevant provisions of this Agreement against which the entry is taken, and the "Measures" element shall prevail over all the other elements.

4. For the purposes of this Annex, the term "J S I C" means Japan Standard Industrial Classification set out by the Ministry of Internal Affairs and Communications, and revised on October 30, 2013.

日本国の表

分野	農林水産業及び関連するサービス（領海、内水、排他的経済水域及び大陸棚における漁業であつて、附属書Ⅱの日本国の表の留保事項八に規定するものを除く。）
小分野	
産業分類	J S I C 〇 一 農業 J S I C 〇 二 林業 J S I C 〇 三 漁業（水産業殖業を除く。） J S I C 〇 四 水産業殖業 J S I C 六 三 二 四 農業協同組合 J S I C 六 三 二 五 漁業協同組合、水産加工業協同組合 J S I C 八 七 一 農林水産業協同組合（他に分類されないもの） 内国民待遇（第二条） 外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条
関連する義務措置	

Schedule of Japan

1 Sector:

Agriculture, Forestry and Fisheries, and Related Services (except Fisheries within the Territorial Sea, Internal Waters, Exclusive Economic Zone and Continental Shelf provided for in the entry No. 8 in the Schedule of Japan in Annex II)

Sub-Sector:

Industry Classification:  
JSIC 01 Agriculture  
JSIC 02 Forestry  
JSIC 03 Fisheries, except aquaculture  
JSIC 04 Aquaculture  
JSIC 6324 Agricultural cooperatives  
JSIC 6325 Fishery and fishery processing cooperatives  
JSIC 871 Agriculture, forestry and fisheries cooperative associations, n.e.c.

Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)

Measures:  
Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27  
Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3

概要	
外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の農林水産業及び関連するサービス（領海、内水、排他的経済水域及び大陸棚における漁業であつて、附属書IIの日本の表の留保事項八に規定するものを除く。）への投資を行うおうとする外国投資家について適用する。	
二	
分野	金融業
小分野	銀行業
産業分類	J S I C 六二二 銀行（中央銀行を除く。）
関連する義務措置	J S I C 六三一 中小企業等金融業
概要	内国民待遇（第二条） 預金保険法（昭和四十六年法律第三十四号）第二条 預金保険制度は、日本国の管轄内に本店を有する金融機関のみを対象とする。 当該制度は、外国銀行支店が受け入れる預金については、対象としない。

Description:	The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in agriculture, forestry and fisheries, and related services (except fisheries within the territorial sea, internal waters, exclusive economic zone and continental shelf provided for in the entry No. 8 in the Schedule of Japan in Annex II) in Japan.
2 Sector:	Finance
Sub-Sector:	Banking
Industry Classification:	JSIC 622 Banks, except central bank
	JSIC 631 Financial institutions for small-businesses
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
Measures:	Deposit Insurance Law (Law No. 34 of 1971), Article 2
Description:	The deposit insurance system only covers financial institutions which have their head offices within the jurisdiction of Japan. The deposit insurance system does not cover deposits taken by branches of foreign banks.



三	分 野	熱供給業
	小分野	J S I C 三五一一 熱供給業
	産業分類	内国民待遇(第二条)
	関連する義務	外国為替及び外国貿易法(昭和二十四年法律第二百二十八号) 第十七条 対内直接投資等に関する政令(昭和五十五年政令第二百六十一号) 第三条
	概要	外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の熱供給業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。

3	Sector:	Heat Supply
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	JSIC 3511 Heat supply
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3
	Description:	The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in the heat supply industry in Japan.

四	分野	情報通信業
小分野	電気通信業	ISIC 三七〇〇 主として管理事務を行う本社等
産業分類	ISIC 三七一一 地域電気通信業（有線放送電話業を除く。）	
	ISIC 三七二一 電気通信に附帯するサービス業	
関連する義務	内閣民待遇（第二条）	
措置	経営幹部及び取締役会（第七条）	
概要	日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和五十九年法律第八十五号）第六条及び第十条	
	1 日本電信電話株式会社は、次の(a)から(c)までに掲げる者により直接又は間接に占められる議決権の割合の合計が三分の一以上となるときは、これらの者の氏名又は名称及び住所を株主名簿に記載してはならない。	
	(a) 日本国の国籍を有しない自然人	
	(b) 外国政府又はその代表者	
	(c) 外国の法人又は団体	
	2 日本国の国籍を有しない自然人は、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社の取締役又は監査役に就任してはならない。	

4	Sector:	Information and Communications
	Sub-Sector:	Telecommunications
	Industry Classification:	JSIC 3700 Head offices primarily engaged in managerial operations
		JSIC 3711 Regional telecommunications, except wired broadcast telephones
		JSIC 3731 Services incidental to telecommunications
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Measures:	Law concerning Nippon Telegraph and Telephone Corporation, etc. (Law No. 85 of 1984), Articles 6 and 10
	Description:	1. Nippon Telegraph and Telephone Corporation may not enter the name and address in its register of shareholders if the aggregate of the ratio of the voting rights directly and/or indirectly held by the persons set forth in subparagraphs (a) through (c) reaches or exceeds one-third: <ul style="list-style-type: none"> <li>(a) a natural person who does not have Japanese nationality;</li> <li>(b) a foreign government or its representative; and</li> <li>(c) a foreign legal person or a foreign entity.</li> </ul> 2. Any natural person who does not have Japanese nationality may not assume the office of member of the board of directors or auditor of Nippon Telegraph and Telephone Corporation, Nippon Telegraph and Telephone East Corporation and Nippon Telegraph and Telephone West Corporation.

五	分野 小分野 産業分類	情報通信業 電気通信業及びインターネット付随サービス業 J S I C 三七一 地域電気通信業（有線放送電話業を除く。） J S I C 三七二 長距離電気通信業 J S I C 三七九 その他の固定電気通信業 J S I C 三七二 移動電気通信業 J S I C 四〇一 インターネット付随サービス業 注 J S I C三七一・三七二・三七九・三七二又は四〇一の下での活動のうちこの留 保事項の対象となる活動は、電気通信事業法（昭和五十九年法律第八十六号）第九条の規定 に基づく登録が求められるものに限られる。
	関連する義務 措置 概要	内国民待遇（第二条） 外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二四十八号）第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の電気通信業及びインターネット 付随サービス業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。

5	Sector:	Information and Communications
	Sub-Sector:	Telecommunications and Internet Based Services
	Industry Classification:	J S I C 3711 Regional telecommunications, except wired broadcast telephones J S I C 3712 Long-distance telecommunications J S I C 3719 Miscellaneous fixed telecommunications J S I C 3721 Mobile telecommunications J S I C 401 Services incidental to Internet
	Notes:	The activities covered by this entry under J S I C 3711, 3712, 3719, 3721 or 401 are limited to the activities which are subject to the registration obligation under Article 9 of the Telecommunications Business Law (Law No. 86 of 1984).
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3
	Description:	The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in telecommunications business and internet based services in Japan.

分野	製造業
小分野	医薬品製造業
産業分類	ISIC 一六五二
関連する義務措置	生物学的製剤製造業 内国民待遇(第二条) 外国為替及び外国貿易法(昭和二十四年法律第二三十八号)第十七条 対内直接投資等に関する政令(昭和五十五年政令第百六十一号)第三条 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の生物学的製剤製造業への投資 を行おうとする外国投資家について適用する。(この場合において、「生物学的製剤製造業」とは、主としてワクチン、血清、毒素、抗毒素又はこれらに類似する製剤及び血液製剤を製造する事業所において行われる経済活動をいう。)
概要	

## 6 Sector:

Manufacturing

### Sub-Sector:

Drugs and Medicines Manufacturing

### Industry Classification:

JSIC 1653 Biological preparations

### Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)

### Measures:

Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27

Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3

### Description:

The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in biological preparations manufacturing industry in Japan. For greater certainty, "biological preparations manufacturing industry" deals with economic activities in an establishment which mainly produces vaccine, serum, toxoid, antitoxin or some preparations similar to the aforementioned products, or blood products.

七	
分野	製造業
小分野	皮革製造業及び皮革製品製造業
産業分類	JSIC 一一八九 他に分類されない衣服・繊維製身の回りの品製造業 JSIC 一六九四 ゼラチン・接着剤製造業 JSIC 一九二 ゴム製・プラスチック製履物・同附属品製造業 JSIC 二〇一 なめし革製造業 JSIC 二〇二 工業用革製品製造業（手袋を除く。） JSIC 二〇三 革製履物用材料・同附属品製造業 JSIC 二〇四 革製履物製造業 JSIC 二〇五 革製手袋製造業 JSIC 二〇六 かばん製造業 JSIC 二〇七 袋物製造業 JSIC 二〇八 毛皮製造業 JSIC 二〇九 その他のなめし革製品製造業 JSIC 三二五 運動用具製造業 注１ JSIC 一一八九又は三二五の下での活動のうち、の留保事項の対象となる活動は、 皮革製造業及び皮革製品製造業に関連するものに限られる。

7	Sector:	Manufacturing
	Sub-Sector:	Leather and Leather Products Manufacturing
	Industry Classification:	JSIC 1189 Textile apparel and accessories, n.e.c. JSIC 1694 Gelatine and adhesives JSIC 192 Rubber and plastic footwear and its findings JSIC 2011 Leather tanning and finishing JSIC 2021 Mechanical and industrial leather products, except gloves and mittens JSIC 2031 Cut stock and findings for leather footwear JSIC 2041 Leather footwear JSIC 2051 Leather gloves and mittens JSIC 2061 Baggage JSIC 207 Handbags and small cases JSIC 2081 Fur skins JSIC 2099 Miscellaneous tanning leather products JSIC 3253 Sporting and athletic goods
Note 1: The activities covered by this entry under JSIC 1189 or 3253 are limited to the activities related to leather and leather products manufacturing.		

八	<p>注 2 J S I C「六九四の下での活動のうちこの留保事項の対象となる活動は、動物系接着剤（にかわ）及びゼラチン製造業に関連するものに限られる。</p> <p>内国民待遇（第二条）</p> <p>外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条</p> <p>対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条</p> <p>外国為替及び外国貿易法に基づき事前届出の要件は、日本国内の皮革製造業及び皮革製品製造業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。</p>	<p>分野</p> <p>小分野</p> <p>産業分類</p> <p>関連する義務</p> <p>措置</p> <p>概要</p>
	<p>船舶の国籍に関する事項</p> <p>内国民待遇（第二条）</p> <p>経営幹部及び取締役会（第七条）</p> <p>船舶法（明治三十二年法律第四十六号）第一条</p> <p>日本国の船舶は、日本国の国民又は日本国の法令に基づいて設立された会社であつて、その代表者の全員及び業務を執行する役員の三分の二以上が日本国の国民であるものが所有する船舶に与えられる。</p>	

<p>8 Sector:</p> <p>Sub-Sector:</p> <p>Industry Classification:</p> <p>Obligations Concerned:</p> <p>Measures:</p> <p>Description:</p>	<p>Note 2: The activities covered by this entry under JSIC 1694 are limited to the activities related to animal glue (nikawa) and gelatine manufacturing.</p> <p>National Treatment (Article 2)</p> <p>Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27</p> <p>Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3</p> <p>The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in leather and leather products manufacturing industry in Japan.</p>
<p>8 Sector:</p> <p>Sub-Sector:</p> <p>Industry Classification:</p> <p>Obligations Concerned:</p> <p>Measures:</p> <p>Description:</p>	<p>Matters Related to the Nationality of a Ship</p> <p>National Treatment (Article 2)</p> <p>Senior Management and Board of Directors (Article 7)</p> <p>Ship Law (Law No. 46 of 1899), Article 1</p> <p>The Japanese nationality shall be given to a ship whose owner is a Japanese national, or a company established under Japanese laws and regulations, of which all the representatives and not less than two-thirds of the executives administering the affairs are Japanese nationals.</p>

九		鉱業
分野 小分野	産業分類	J S I C 〇五 鉱業、採石業、砂利採取業
措置 概要	関連する義務	内国民待遇（第二条） 鉱業法（昭和二十五年法律第二百八十九号）第二章及び第三章 日本国の国民又は法人のみが、鉱業権又は租鉱権を保有する（一）ができる。

9	Sector:	Mining
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	JSIC 05 Mining and quarrying of stone and gravel
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Mining law (law No. 289 of 1950), Chapters 2 and 3
	Description:	Only a Japanese national or a Japanese legal person may have mining rights or mining lease rights.



十	分野 小分野 産業分類	石油業
	J S I C 〇五二	原油・天然ガス鉱業
	J S I C 一七二	石油精製業
	J S I C 一七二	潤滑油・グリース製造業（石油精製業に由来しないもの）
	J S I C 一七四	舗装材料製造業
	J S I C 一七九	その他の石油製品・石炭製品製造業
	J S I C 四七一	倉庫業（冷蔵倉庫業を除く）
	J S I C 四七二	冷蔵倉庫業
	J S I C 五三二	石油卸売業
	J S I C 六〇五	ガソリンスタンド
	J S I C 六〇五	燃料小売業（ガソリンスタンドを除く）
	J S I C 九二九	他に分類されないその他の事業サービス業
	注 1 J S I C 七四一・一七九・四七一・四七二又は六〇五二の下での活動のうち	の留保事項の対象となる活動は、石油業に関連するものに限られる。
	注 2 J S I C 九二九の下での活動のうち	の留保事項の対象となる活動は、液化石油ガス産業に関連するものに限られる。
	関連する義務 内国民待遇（第二条）	

10	Sector:	Oil Industry
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	J S I C 053	Crude petroleum and natural gas production
	J S I C 1711	Petroleum refining
	J S I C 1721	Lubricating oils and greases (not made in petroleum refineries)
	J S I C 1741	Paving materials
	J S I C 1799	Miscellaneous petroleum and coal products
	J S I C 4711	Ordinary warehousing, except refrigerated warehousing
	J S I C 4721	Refrigerated warehousing
	J S I C 5331	Petroleum
	J S I C 6051	Gasoline stations
	J S I C 6052	Fuel stores, except gasoline stations
	J S I C 9299	Miscellaneous business services, n.e.c.
	Note 1:	The activities covered by this entry under JSIC 1741, 1799, 4711, 4721 or 6052 are limited to those related to oil industry.
	Note 2:	The activities covered by this entry under JSIC 9299 are limited to those related to liquefied petroleum gas industry.
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)

十一	分野	警備業
	産業分類 関連する義務 措置 概要	J S I C 九二三 警備業 内国民待遇(第二条) 外国為替及び外国貿易法(昭和二十四年法律第二百二十八号)第二十七条 対内直接投資等に関する政令(昭和五十五年政令第二百六十一号)第三条 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国等の石油業への投資を行うこととする外国投資家について適用する。もつとも、エチレン、エチレングリコール、ポリカーボネートその他の全ての有機化学工業製品は、石油業の範囲外である。したがって、これらの製品の製造に対する投資について、同法に基づく事前届出は必要とされない。

Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3
Description:	The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in the oil industry in Japan. All organic chemicals such as ethylene, ethylene glycol and polycarbonates are outside the scope of the oil industry. Therefore, the prior notification under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law is not required for the investments in the manufacture of these products.
11 Sector:	Security Guard Services
Sub-Sector:	
Industry Classification:	JSIC 923 Guard services
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3
Description:	The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in security guard services in Japan.

十二	分野	運輸業
小分野	航空運輸業	
産業分類	J S I C 四六〇〇 主として管理事務を行う本社等	
関連する義務	J S I C 四六一一 航空運送業 内国民待遇（第二條） 最恵国待遇（第二條）	
措置	経営幹部及び取締役会（第七條） 外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七條 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三條 航空法（昭和二十七年法律第二百一十一号）第七章及び第八章	
概要	1 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の航空運送事業への投資を行う おうとする外国投資家について適用する。 2 日本国の航空運送事業者として航空運送事業を営むための国土交通大臣の許可は、「これを申請する次の自然人又は団体には与えられない。 (a) 日本国の国籍を有しない自然人 (b) 外国又は外国の公共団体若しくはこれに準ずるもの	

12	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Air Transport
	Industry Classification:	JSIC 4600 Head offices primarily engaged in managerial operations
		JSIC 4611 Air transport
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3) Senior Management and Board of Directors (Article 7) Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3 Civil Aeronautics Law (Law No. 231 of 1952), Chapters 7 and 8
	Measures:	
	Description:	1. The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in air transport business in Japan. 2. Permission of the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism for conducting air transport business as a Japanese air carrier is not granted to the following natural persons or entities applying for the permission: (a) a natural person who does not have Japanese nationality; (b) a foreign country, or a foreign public entity or its equivalent;

	(c)	(d)
	外国の法令に基づいて設立された法人その他の団体	(a) (a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により代表される法人、役員の一以上が(a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により構成される法人又は議決権の三分の一以上が(a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により保有される法人
	航空運送事業者が(a)から(d)までに掲げる自然人又は団体に該当するに至ったときは、(c)の許可は、効力を失う。許可を受けるためのこれらの条件は、航空運送事業者を実質的に支配する持株会社等についても適用する。	航空運送事業者が(a)から(d)までに掲げる自然人又は団体に該当するに至ったときは、(c)の許可は、効力を失う。許可を受けるためのこれらの条件は、航空運送事業者を実質的に支配する持株会社等についても適用する。
3	日本国の航空運送事業者又は日本国の航空運送事業者を実質的に支配する持株会社等は、2(a)から(c)までに掲げる自然人又は団体であつて当該航空運送事業者又は当該持株会社等の株式を所有するものからその氏名又は名称及び住所を株主名簿に記載することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより2(d)に掲げる法人に該当することとなるときは、当該請求を拒むことができる。	日本国の航空運送事業者又は日本国の航空運送事業者を実質的に支配する持株会社等は、2(a)から(c)までに掲げる自然人又は団体であつて当該航空運送事業者又は当該持株会社等の株式を所有するものからその氏名又は名称及び住所を株主名簿に記載することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより2(d)に掲げる法人に該当することとなるときは、当該請求を拒むことができる。
4	外国の航空運送事業者は、国際航空運送事業を営むためには、国土交通大臣の許可を受けなければならない。	外国の航空運送事業者は、国際航空運送事業を営むためには、国土交通大臣の許可を受けなければならない。

(c) a legal person or other entity constituted under the laws of any foreign country; and

(d) a legal person represented by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); a legal person of which one-third or more of the directors are composed of the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); or a legal person of which one-third or more of the voting rights are held by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c).

In the event that an air carrier becomes a natural person or an entity referred to in subparagraphs (a) through (d), the permission will lose its effect. The conditions for the permission also apply to companies such as holding companies, which have substantial control over the air carriers.

3. A Japanese air carrier or a company having substantial control over such air carrier, such as a holding company, may reject the request from a natural person or an entity set forth in subparagraphs 2(a) through 2(c), who owns equity investments in such air carrier or company, to enter its name and address in the register of shareholders, in the event that such air carrier or company becomes a legal person referred to in subparagraph 2 (d) by accepting such request.

4. Foreign air carriers are required to obtain permission of the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism to conduct international air transport business.

5	外国の国籍を有する航空機を使用して日本国内から出発し、又は日本国内に到着する旅客又は貨物を有償で運送する場合には、国土交通大臣の許可を受けなければならない。
6	外国の国籍を有する航空機は、日本国内の各地間において航空の用に供してはならない。

5. Permission of the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism is required for the use of foreign aircraft for air transportation of passengers or cargoes to and from Japan for remuneration.
6. A foreign aircraft may not be used for a flight between points within Japan.

十三	
分野	運輸業
小分野	航空運輸業
産業分類	J S I C 四六〇〇 主として管理事務を行う会社等 J S I C 四六二二 航空機使用業（航空運送業を除く）
関連する義務	内国民待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
措置	外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条 航空法（昭和二十七年法律第二百三十一号）第七章及び第八章
概要	1 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の航空機使用事業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。
	2 航空機使用事業を営むための国土交通大臣の許可は、これを申請する次の自然人又は団体とは与えられない。
	(a) 日本国の国籍を有しない自然人 (b) 外国又は外国の公共団体若しくはこれに属するもの (c) 外国の法令に基づいて設立された法人その他の団体

13	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Air Transport
	Industry Classification:	J S I C 4600 Head offices primarily engaged in managerial operations J S I C 4621 Aircraft service, except air transport
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3 Civil Aeronautics Law (Law No. 231 of 1952), Chapters 7 and 8
	Description:	1. The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in aerial work business in Japan. 2. Permission of the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism for conducting aerial work business is not granted to the following natural persons or entities applying for the permission: (a) a natural person who does not have Japanese nationality; (b) a foreign country, or a foreign public entity or its equivalent; (c) a legal person or other entity constituted under the laws of any foreign country; and

3	<p>(d) (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により代表される法人、役員の一以上が (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により構成される法人又は議決権の三分の一以上が (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により保有される法人</p> <p>航空機使用事業者が (a) から (d) までに掲げる自然人又は団体に該当するに当たるときは、(S) 許可は、効力を失う。許可を受けるためのこれらの条件は、航空機使用事業者を実質的に支配する持株会社等についても適用する。</p> <p>3 外国の国籍を有する航空機は、日本国内の各地間において航空の用に供してはならない。</p>

(d) a legal person represented by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); a legal person of which one-third or more of the directors are composed of the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); or a legal person of which one-third or more of the voting rights are held by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c).

In the event that a person conducting aerial work business becomes a natural person or an entity referred to in subparagraphs (a) through (d), the permission will lose its effect. The conditions for the permission also apply to companies, such as holding companies, which have substantial control over the person conducting aerial work business.

3. A foreign aircraft may not be used for a flight between points within Japan.



十四	分野 小分野 産業分類 関連する義務	運輸業 航空運輸業（航空機登録原簿への航空機の登録） 内国民待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七章） 航空法（昭和二十七年法律第百三十一号）第一章
	措置 概要	1 次の自然人又は団体が所有する航空機の航空機登録原簿への登録は、認められない。 (a) 日本国の国籍を有しない自然人 (b) 外国又は外国の公共団体若しくはこれに準ずるもの (c) 外国の法令に基づいて設立された法人その他の団体 (d) (a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により代表される法人、役員の上三分の一以上が(a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により構成される法人又は議決権の三分の一以上が(a)から(c)までに掲げる自然人若しくは団体により保有される法人 2 外国の国籍を有する航空機の航空機登録原簿への登録は、認められない。

14	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Air Transport (Registration of Aircraft in the National Register)
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Measures:	Civil Aeronautics Law (Law No. 231 of 1952), Chapter 2
	Description:	1. An aircraft owned by any of the following natural persons or entities may not be registered in the national register: (a) a natural person who does not have Japanese nationality; (b) a foreign country, or a foreign public entity or its equivalent; (c) a legal person or other entity constituted under the laws of any foreign country; and (d) a legal person represented by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); a legal person of which one-third or more of the directors are composed of the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); or a legal person of which one-third or more of the voting rights are held by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c). 2. A foreign aircraft may not be registered in the national register.

十五	分野	運輸業
	小分野	貨物利用運送事業（航空運送を利用する貨物利用運送事業を除く。）
	産業分類	J S I C 四四四 集配利用運送業
	関連する義務	J S I C 四八二 利用運送業（集配利用運送業を除く。） 内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第三条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 貨物利用運送事業法（平成元年法律第八十二号）第二章から第四章まで 貨物利用運送事業法施行規則（平成二年運輸省令第二十号）
	措置	次の自然人又は団体は、外航海運を利用する貨物利用運送事業を営むためには、国土交通大臣の登録、許可又は認可を受けなければならない。この登録は、相互主義に基づいて行われ、また、この許可又は認可は、相互主義に基づいて与えられる。
	概要	(a) 日本国の国籍を有しない自然人 (b) 外国又は外国の公共団体若しくはこれに準ずるもの

15	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Freight Forwarding Business (excluding Freight Forwarding Business Using Air Transportation)
	Industry Classification:	J S I C 441 Collect-and-deliver freight transport
		J S I C 4821 Freight transport, except collect-and- deliver freight transport
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
		Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
		Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Measures:	Freight Forwarding Business Law (Law No. 82 of 1989), Chapters 2 through 4
		Enforcement Regulation of Freight Forwarding Business Law (Ministerial Ordinance of the Ministry of Transport No. 20 of 1990)
	Description:	The following natural persons or entities are required to be registered with, or to obtain permission or approval of, the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism for conducting freight forwarding business using international shipping. Such registration shall be permitted, or such permission or approval shall be granted, on the basis of reciprocity:
		(a) a natural person who does not have Japanese nationality;
		(b) a foreign country, or a foreign public entity or its equivalent;

イスラエルとの投資協定

		(c) 外国の法令に基づいて設立された法人その他の団体
		(d) (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により代表される法人、役員の一以上の
		(a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により構成される法人又は議決権の三分の一以上
		が (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により保有される法人

四〇六

- (c) a legal person or other entity constituted under the laws of any foreign country; and
- (d) a legal person represented by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); a legal person of which one-third or more of the directors are composed of the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); or a legal person of which one-third or more of the voting rights are held by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c).

十六	分野	運輸業
小分野	貨物利用運送事業（航空運送を利用する貨物利用運送事業に限る。）	
産業分類	J S I C 四四四 集配利用運送業	
関連する義務	J S I C 四八二 利用運送業（集配利用運送業を除く。） 内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第三条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 貨物利用運送事業法（平成元年法律第八十二号）第二章から第四章まで 貨物利用運送事業法施行規則（平成二年運輸省令第二十号） 1 次の自然人又は団体は、日本国内の各地間において航空運送を利用する貨物利用運送事業を営むことはできない。 (a) 日本国の国籍を有しない自然人 (b) 外国又は外国の公共団体若しくはこれに準ずるもの (c) 外国の法令に基づいて設立された法人その他の団体	
	措置	
	概要	

16	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Freight Forwarding Business (only Freight Forwarding Business Using Air Transportation)
	Industry Classification:	JSTC 4441 Collect-and-deliver freight transport JSTC 4821 Freight transport, except collect-and-deliver freight transport
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3) Senior Management and Board of Directors (Article 7) Freight Forwarding Business Law (Law No. 82 of 1989), Chapters 2 through 4 Enforcement Regulation of Freight Forwarding Business Law (Ministerial Ordinance of the Ministry of Transport No. 20 of 1990)
	Measures:	
	Description:	1. The following natural persons or entities may not conduct freight forwarding business using air transportation between points within Japan: (a) a natural person who does not have Japanese nationality; (b) a foreign country, or a foreign public entity or its equivalent; (c) a legal person or other entity constituted under the laws of any foreign country; and

	(d) (a) から (c) までに掲げる自然人若しくは団体により代表される法人、役員の三分の一以上が (a) から (c) までに掲げる自然人若しくはは団体により構成される法人又は議決権の三分の一以上が (a) から (c) までに掲げる自然人若しくはは団体により保有される法人
2	1 に掲げる自然人又は団体は、国際航空運送を利用する貨物利用運送事業を営むためには、国土交通大臣の登録、許可又は認可を受けなければならない。この登録は、相互主義に基づいて行われ、また、この許可又は認可は、相互主義に基づいて与えられる。

(d) a legal person represented by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); a legal person of which one-third or more of the directors are composed of the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c); or a legal person of which one-third or more of the voting rights are held by the natural persons or entities referred to in subparagraph (a), (b) or (c).

2. The natural persons or entities referred to in paragraph 1 are required to be registered with, or to obtain permission or approval of, the Minister of Land, Infrastructure, Transport and Tourism for conducting freight forwarding business using international air transportation. Such registration shall be permitted, or such permission or approval will be granted, on the basis of reciprocity.

十七	分野	運輸業
	小分野	鉄道業
	産業分類	J S I C 四二一 鉄道業
	関連する義務	J S I C 四八五 一 鉄道施設提供業 内国民待遇(第二条)
	措置	外国為替及び外国貿易法(昭和二十四年法律第二百二十八号)第二十七条 対内直接投資等に関する政令(昭和五十五年政令第二百六十一号)第三条
	概要	1 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の鉄道業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。 2 鉄道業の用に供される車両の全部又は一部及び部品の製造は、鉄道業に含まれない。したがって、これらの製品の製造に対する投資について、外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出は、必要とされない。

17	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Railway Transport
	Industry Classification:	JSIC 421 Railway transport JSIC 4851 Railway facilities services
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3
	Description:	1. The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in railway transport industry in Japan. 2. The manufacture of vehicles or parts and components for the railway transport industry is not included in railway transport industry. Therefore, the prior notification under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law is not required for the investments in the manufacture of these products.

イスラエルとの投資協定

十八	分野	運輸業
	小分野	道路旅客運送業
	産業分類	JSIC 四三一一 一般乗合旅客自動車運送業
	関連する義務	内国民待遇（第二条）
	措置	外国為替及び外国貿易法（昭和十四年法律第三十八号 第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十号 第三条
	概要	1 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の一般乗合旅客自動車運送業（の投資を行おうとする外国投資家について適用する。 2 一般乗合旅客自動車運送業の用に供される車両の全部又は一部及び部品の製造は、一般乗合旅客自動車運送業に含まれない。したがって、これらの製品の製造に対する投資について、外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出は、必要とされない。

18

Sector:

Transport

Sub-Sector:

Road Passenger Transport

Industry Classification:

JSIC 4311 Common omnibus operators

Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)

Measures:

Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27

Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3

Description:

1. The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in omnibus industry in Japan.

2. The manufacture of vehicles or parts and components for omnibus industry is not included in omnibus industry. Therefore, the prior notification under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law is not required for the investments in the manufacture of these products.



十九	分野	運輸業
小分野	水運業	
産業分類	J S I C 四五二 沿海海運業	
	J S I C 四五三 内陸水運業	
	J S I C 四五四 内航船舶貸渡業	
関連する義務	内国民待遇（第二条）	
措置	外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の水運業への投資を行うとする外国投資家について適用する。この場合において、「水運業」とは、外航海運業、沿海海運業（日本国内の港の間の海上運送）、内陸水運業及び船舶貸渡業をいう。ただし、外航海運業及び船舶貸渡業（内航船舶貸渡業を除く。）は、事前届出の要件の適用から除外される。	
概要		

19	Sector:	Transport
	Sub-Sector:	Water Transport
	Industry Classification:	<p>JSIC 452 Coastwise transport</p> <p>JSIC 453 Inland water transport</p> <p>JSIC 4542 Coastwise ship leasing</p>
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	<p>Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27</p> <p>Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3</p>
	Description:	<p>The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in the water transport industry in Japan. For greater certainty, "water transport industry" refers to oceangoing/ seagoing transport, coastwise transport (i.e. maritime transport between ports in Japan), inland water transport and ship leasing industry. However, oceangoing/ seagoing transport industry and ship leasing industry excluding coastwise ship leasing industry are exempted from the prior notification requirement.</p>

二十	分野 小分野 産業分類 関連する義務	運輸業 水運業  内国民待遇(第二条) 最恵国待遇(第三条) 船舶法(明治三十二年法律第四十六号) 第三条 日本国の法令又は日本国が締結している国際協定に別段の定めがある場合を除くほか、日本国を旗国としない船舶は、日本国内の不開港場の客港及び日本国内の港の間の貨物又は旅客の運送を行ってはならない。
二十一	分野 小分野 産業分類 関連する義務 措置 概要	上水道業  J S I C 三六一一 上水道業 内国民待遇(第二条) 外国為替及び外国貿易法(昭和二十四年法律第二百二十八号) 第二十七条 対内直接投資等に関する政令(昭和五十五年政令第二百六十一号) 第三条 外国為替及び外国貿易法に基づく事前届出の要件は、日本国内の上水道業への投資を行おうとする外国投資家について適用する。

20	Sector: Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned: Measures: Description:	Transport Water Transport  National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)  Ship Law (Law No. 46 of 1899), Article 3  Unless otherwise specified in laws and regulations of Japan, or international agreements to which Japan is a party, ships not flying the Japanese flag are prohibited from entering ports in Japan which are not open to foreign commerce and from carrying cargoes or passengers between ports in Japan.
21	Sector: Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned: Measures: Description:	Water Supply and Waterworks  JSIC 3611 Water for end users, except industrial users National Treatment (Article 2)  Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3  The prior notification requirement under the Foreign Exchange and Foreign Trade Law applies to foreign investors who intend to make investments in water supply and waterworks industry in Japan.

イスラエル国の表

一	
分野 小分野 産業分類 関連する義務 措置 概要	獣医学  内国民待遇（第二条） 獣医師法（千九百九十一年）第五條及び第十七條 1 獣医師の免許を取得するためには、イスラエル国（以下この表において「イスラエル」という。）の国籍又は永住権が必要とされる。 2 イスラエルの国民又は永住者でない外国の獣医師は、獣医学において助言、教育及び研究を行うためには、農業省の許可を取得する。

Schedule of the State of Israel

1	Sector:	Veterinary Medicine
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Veterinarians Law, 1991, Articles 5 and 17
	Description:	1. Nationality or permanent residency of the State of Israel (hereinafter referred to in this Schedule as "Israel") is required for licensure as a veterinarian. 2. Foreign veterinarians, who are not nationals or permanent residents of Israel, shall obtain a permit from the Ministry of Agriculture for advising, teaching and research in veterinary medicine.

イスラエルとの投資協定

二	分野 小分野 産業分類 関連する義務	運輸業 自動車
	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 商品及びサービスに関する監督命令、自動車の輸入及び自動車に関するサービス（一千九百七十八年） 第三条	
	自動車分野におけるサービス及び職業の免許法（一千九百九十六年） 第一条、第二十條、第四十一條、第四十二條、第四十四條、第六十八條、第九十七條、第九十八條、第一百三十六條、第一百四十三條及び第四百十九條	
	会社法（千九百九十九年） 第一条	
	1 自動車を商業的に輸入するためには、免許が必要とされる。免許を申請する企業において、代表取締役及び少なくとも一人の会社法（千九百九十九年） 第一条に規定する利害関係を有する者は、イスラエルの国民又は永住者とする。	
	2 自動車を製造し、及び販売し、又はその貿易を行うためには、免許が必要とされ、また、当該免許を有する者は、次のいずれかの者でなければならない。	
	(a) 該免許を有する者は、次のいずれかの者でなければならない。	
	(b) 個人企業であるイスラエルの国民又は永住者	
	イスラエルにおいて登記された企業であって、代表取締役及び少なくとも一人の会社法（千九百九十九年） 第一条に規定する利害関係を有する者がイスラエルの国民又は永住者であるもの	

2	Sector:	Transportation
	Sub-Sector:	Motor Vehicle
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Measures:	Supervision Order on Commodities and Services (Imports of Motor Vehicle and Services to Motor Vehicle), 1978, Article 3 Law of Licensing of Services and Professions in the Motor Vehicle Sector, 2016, Articles 2, 20, 41, 42, 44, 68, 97, 98, 136, 143 and 149 Companies Law, 1999, Article 1
	Description:	1. License is required in order to commercially import motor vehicles. The director general and at least one interested party as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, of a corporation applying for licensure, shall be nationals or permanent residents of Israel. 2. License is required in order to manufacture and market motor vehicles or to trade in motor vehicles and the license holder must be: (a) a national or permanent resident of Israel who is a sole proprietor; or (b) a registered corporation in Israel whose director general and at least one interested party as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, are nationals or permanent residents of Israel.

3	自動車の個人による輸入を仲介するためには、免許が必要とされ、また、当該免許を有する者は、次のいずれかの者でなければならない。
(a)	個人企業であるイスラエルの国民又は永住者
(b)	イスラエルにおいて登記された企業であつて、代表取締役及び少なくとも一人の会社法（千九百九十九年）第一条に規定する利害関係を有する者がイスラエルの国民又は永住者であるものの従業員
4	自動車分野におけるサービス及び職業の免許法（二千十六年）第二条に規定する運輸業に關連する製品を製造するためには、免許が必要とされ、また、当該免許を有する者は、次のいずれかの者でなければならない。
(a)	個人企業
(b)	イスラエルにおいて登記された企業であつて、代表取締役及び少なくとも一人の会社法（千九百九十九年）第一条に規定する利害関係を有する者がイスラエルの国民又は永住者であるもの
5	イスラエルは、自動車分野におけるサービス及び職業の免許法（二千十六年）第九十七条に規定する特定の運輸業に關連する製品がイスラエルの市場のみにおける販売のために製造されることを決定することができる。
6	自動車査定士の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。

3. License is required in order to brokerage in motor vehicle private import and the license holder must be:
  - (a) a national or permanent resident of Israel who is a sole proprietor; or
  - (b) an employee of a registered corporation in Israel whose director general and at least one interested party as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, are nationals or permanent residents of Israel.
4. License is required in order to manufacture traffic products, as defined in Article 2 of the Law of Licensing of Services and Professions in the Motor Vehicle Sector, 2016, and the license holder must be:
  - (a) a sole proprietor; or
  - (b) a registered corporation in Israel the director general and at least one interested party as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, of which are nationals or permanent residents of Israel.
5. Israel may determine that certain traffic products, as defined in Article 97 of the Law of Licensing of Services and Professions in the Motor Vehicle Sector, 2016, are made for marketing in the Israeli market alone.
6. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a motor vehicle appraiser.

7 自動車サービスセンター(自動車整備工場)の専門的経営者としての免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされ、また、自動車整備工場を運営するためには、少なくとも一人の免許を有する専門的の経営者が当該自動車整備工場において勤務していることが必要とされる。

注1 自動車分野におけるサービスマス及び職業の免許法(二千十六年)第二条に規定する「運輸業に關連する製品」とは、附屬品、部品、部品の組合せ、器具(自動車整備工場又は製造業者が使用する作業工具である器具を除く。)、機器又は液体、固体若しくは気体の物質であつて、自動車、の組立て、保守若しくは適切な運搬、自動車若しくは使用者の安全の確保又は使用者の便宜のために用いられるもの又は用いられることを目的とするものをいう。

注2 この表の適用上、代表取締役は、最高経営責任者と同等の地位であることが了解される。

注3 この表の適用上、会社法(千九百九十九年)第一条に規定する「利害關係を有する者」とは、次のいずれかの者をいう。

(a) 實質的な株主

(b) 一又は二以上する取締役又は代表取締役を任命する権限を有する者

7. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a professional manager of a motor vehicle service center (garage) and at least one licensed professional manager is required to be available on the premises in order to operate a motor vehicle garage.

Note 1: "Traffic Product" as

defined in Article 2 of the Law of Licensing of Services and Professions in the Motor Vehicle Sector, 2016, is an accessory, a part, system of parts, an appliance with the exception of an appliance that is a work tool used by garages or manufacturers only, a device or substance that is a liquid, solid or gas, that is used or designed to be used for assembly, maintenance or the proper operation of a motor vehicle or for ensuring the safety of a motor vehicle or for ensuring user safety or for its convenience.

Note 2:

For the purposes of this Schedule, it is understood that director general is an equivalent position to chief executive officer.

Note 3: For the purposes of this

For the purposes of this Schedule, "interested party", as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, is:

- (a) a substantial shareholder;
- (b) a person with the power to appoint one or more members of the board of directors or the director general; or

二	分野	(c) 企業において取締役又は代表取締役として勤務する者
二	小分野	運輸業
二	分野	運輸免許及び道路輸送サービス（旅客運送サービス及び自動車整備安全管理者を含む。）
二	小分野	道路輸送規則（千九百六十一条 第二百七十五条から第九十条まで、第二百三十一条から第二百三十三条Hまで、第二百六十一条、第二百七十一条A、第二百七十四条、第二百七十五条、第二百七十六条、第二百七十七条B及び第二百七十八条）
二	小分野	道路輸送に関する政令（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する監督命令（タクシメーターの購入、設置及び保守）（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）
二	小分野	道路輸送に関する法律（千九百六十一条）

3	Sector:	Transportation
	Sub-Sector:	Driving Licenses and Road Transport Services, including Passenger Transportation Services and Motor Vehicle Mechanics Safety Officer
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Road Transport Regulations, 1961, Articles 175-190, 213-213H, 216, 221, 221A, 247, 251, 531, 567, 567B and 582  Road Transport Ordinance, Article 14  Supervision Order on Commodities and Services (Purchase, Installation and Maintenance of Taxi Meters), 1984  Companies Law, 1999, Article 1
	Description:	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Nationality or permanent residency of Israel is required to obtain certain types of driving licenses, in accordance with Articles 175-185, 189 and 190 of Road Transport Regulations, 1961.</li> <li>2. Nationality or permanent residency of Israel is required for license as a driving instructor.</li> <li>3. Nationality or permanent residency of Israel is required for license as a taxi operator.</li> </ol>



四	分野	4 タクシーメーターの設置又は保守に従事する個人には、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされ、また、タクシーメーターの設置又は保守を行う企業は、会社法（一九九十九年）第一条に規定する利害関係を有する者であつて、イスラエルの国民又は永住者であるものを少なくとも一人有しなければならない。
	小分野	5 自動車整備安全管理者として就労することの承認を与えられるためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。
	産業分類	運輸業
	関連する義務	道路貨物運送サービス業
	関連する義務	内国民待遇（第二条）
	措置	特定措置の履行要求の禁止（第六条） 貨物サービス規則（二千一年） 第二条及び第二十四条 輸送サービス法（千九百九十七年）
	概要	1 貨物運送の免許を申請する個人及び貨物運送業の事業者は、イスラエルの国民又は永住者とする。 2 貨物運送業の専門的な経営者は、イスラエルの国民又は永住者とする。

4	Sector:	4. Nationality or permanent residency of Israel is required for an individual working in installation or maintenance of taxi meters and an enterprise operating in installation or maintenance of taxi meters must have at least one interested party, as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999, who is a national or permanent resident of Israel.
	Sub-Sector:	5. Nationality or permanent residency of Israel is required for authorization to work as a motor vehicle mechanics safety officer.
	Industry Classification:	Transportation
	Obligations Concerned:	Road Haulage Services
	Measures:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Freight Services Regulations, 2001, Articles 2 and 24 Law of Transport Services, 1997
	Description:	1. Individuals applying for a haulage license and the operator of the haulage shall be nationals or permanent residents of Israel. 2. The professional manager of haulage shall be a national or permanent resident of Israel.

分野	運輸業
小分野	海上輸送業
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条）
措置	特定措置の履行要求の禁止（第六条） 海運法（海洋船舶）（千九百六十年） 港湾に関する政令（千九百七十一年） 港湾に関する規則（航行の安全）（千九百八十二年） 海運法（船員）（千九百七十三年） 海事規則（船員）（二千二年） 海事規則（船員）（船舶及び引き船へのイスラエルの船員の配属）（二千十六年） 海運港務当局法（二千四年） 海運法（イスラエルの管理下にある外国の海洋船舶）（二千五年） 1 イスラエルの船舶登録簿に登録し、及びイスラエルの国旗を掲げるためには、イスラエルの国民若しくはイスラエルに設立される企業又はイスラエルによる船舶の所有権の過半数の保有が必要とされる（「イスラエルの船舶」）。 2 イスラエルの国民若しくは永住者又はイスラエルに設立される企業が支配する外国船舶は、海運法（イスラエルの管理下にある外国の海洋船舶）（二千五年）に従ってイスラエルにおいて登録される（「外国船舶」）。

5	Sector:	Transportation
	Sub-Sector:	Maritime Transport
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Shipping Law (Sea Vessel), 1960 Ports Ordinance, 1971 Ports Regulations (Safety of Navigation), 1982 Shipping Law (Seafarers), 1973 Maritime Regulations (Seafarers), 2002 Maritime Regulations (Seafarers) (Staffing of Vessels and Tugboats with Israeli Seafarers), 2016 Shipping and Ports Authority Law, 2004 Shipping Law (Foreign Sea Vessel under Israeli Control), 2005
	Description:	<p>1. In order to register in the Israeli vessel registry and carry an Israeli flag, a majority ownership of a vessel by a national of Israel or an enterprise incorporated in Israel or by Israel is required ("Israeli Vessel").</p> <p>2. A foreign vessel that is controlled by a national or permanent resident of Israel or by an enterprise incorporated in Israel shall be registered in Israel in accordance with Shipping Law (Foreign Sea Vessel under Israeli Control), 2005 ("Foreign Vessel").</p>

イスラエルとの投資協定

		3 イスラエルの船舶又は2に規定する外国船舶を運航するためには、イスラエルの船員が必要とされる。
		4 船員としての免許を受けるためには、イスラエルの国籍が必要とされる。非居住者に対する免許の付与は、海運港湾管理者による事前の承認を条件とする。

3. Israeli seafarers are required in order to operate an Israeli vessel or a foreign vessel referred to in paragraph 2.
4. Seafarer certificate requires nationality of Israel. Providing a certificate to non-residents is subject to prior approval by the Administrator of Shipping and Ports.

六	分 野	運輸業
	小 分 野	航空輸送業及び航空輸送の国内営業
	産業分類	
	関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条）
	措 置	航空法（二千十一年） 航空サービス免許法（千九百六十二年） 空港当局法（千九百七十七年） 航空規則（航空機の運航及び飛行規則）（千九百八十一年） 1 イスラエルの航空会社を運営し、又はイスラエルの航空機を運航するための免許は、次のいずれかの者に付与される。 (a) イスラエルの国外で主たる事業活動を行わないイスラエルの永住者 (b) イスラエルの国内で主たる事業活動を行うイスラエルの国民 (c) イスラエルにおいて設立される企業であつて、イスラエルの国民若しくは永住者又はイスラエルが当事国である国際航空条約に従つて支配され、及び所有される企業が直接に支配するもの 2 航空輸送の国内営業については、イスラエルの航空機によつてのみ運航する。
	概 要	

6	Sector:	Transportation
	Sub-Sector:	Air Transport and Air Cabotage
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Air Navigation Law, 2011 Aviation Services Licensing Law, 1963 Airports Authority Law, 1977 Air Navigation Regulations (Operating of Aircraft and Rules of Flight), 1981
	Description:	1. A license to operate an Israeli airline or aircraft is given to: (a) a permanent resident of Israel with no main business operations outside of Israel; (b) a national of Israel with a main business operations in Israel; or (c) an enterprise incorporated in Israel which is directly controlled by a national or permanent resident of Israel or by an enterprise whose control and ownership is in accordance with an international aviation treaty that Israel is a party to. 2. Air cabotage is operated by Israeli aircrafts only.

イスラエルとの投資協定

七	分野 小分野 産業分類 関連する義務	電子署名に関する事項 内国民待遇（第二条） 電子署名法（二十一年）第十一條及び第二十二條 1 「電子証明書の外国の発行者」の登録は、電子署名法（二十一年）に定める追加的条件の対象となり得る。 2 「電子証明書の外国の発行者」以外の電子証明書の発行者の登録には、イスラエルの国民若しくは永住者又はイスラエルにおいて設立される企業であつてイスラエルに主たる業務及び事業の中心地を有するものであることが必要とされる。
八	分野 小分野 産業分類 関連する義務 措置 概要	観光業 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 観光サービス規則（観光ガイド）（千九百六十七年）第二条 観光サービス法（千九百七十六年）第三条 観光ガイドの発許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。

7	Sector: Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned: Measures: Description:	Electronic Signature      National Treatment (Article 2)  Electronic Signature Law, 2001, Articles 11 and 22  1. Registration as a "foreign issuer of electronic certificate" may be subject to additional conditions as set out in the Electronic Signature Law, 2001. 2. Registration as an issuer of electronic certificate other than a "foreign issuer of electronic certificate" requires to be a national or permanent resident of Israel or an enterprise incorporated in Israel and having its main operations and center of business in Israel.
8	Sector: Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned: Measures: Description:	Tourism      Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Tourism Services Regulation (Tour Guides), 1967, Article 2 Tourism Services Law, 1976, Article 3  Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a tour guide.

九	
分野	農業
小分野	漁業
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 漁業規則（千九百三十七年）第一条から第三条まで
措置	漁業免許の発給、継続及び変更には、農業省の承認が必要とされる。イスラエルは、漁業規則（千九百三十七年）に基づき、外国の国民又は企業に対して漁業免許を発給しない権利を留保する。
概要	

9	Sector:	Agriculture
	Sub-Sector:	Fishery
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Fishery Regulation, 1937, Articles 2-3
	Description:	Issuance, continuation and amendment of fishery license require authorization by the Ministry of Agriculture. Israel reserves the right not to issue a fishery license for foreign nationals or enterprises under Fishery Regulation, 1937.

イスラエルとの投資協定

+			
分野	小分野	産業分類	通信業
関連する義務			国内用固定回線サービス、国際通信サービス並びに無線通信サービス及び携帯電話サービス
措置			内国民待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 通信規則（電気通信及び放送）（国内用固定回線電気通信サービスの提供のための包括免許を取得するための手続及び条件）（二十一年） 第十一條 通信法（電気通信及び放送）（一九百八十二年） 第四条から第四條日まで及び第六條から第七條まで 通信規則（電気通信及び放送）（統合された包括免許を取得するための手続及び条件）（二十一年） 第十條 1 国内用固定回線サービスを提供する企業において、 (a) 外国人による持分は、八十パーセントに制限される。 (b) 取締役の七十五パーセントは、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。 (c) 代表取締役は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。
概要			

10 Sector:

Sub-Sector:

Industry Classification:

Obligations Concerned:

Measures:

Communications

Domestic Fixed Line Services, International Communications Services and Radio and Mobile Telephone Services

National Treatment (Article 2)

Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Communications Regulations (Telecommunications and Broadcasting) (Procedures and Conditions for Obtaining a General License for the Provision of Domestic Fixed-Line Telecommunication Services), 2000, Article 11

Communication Law (Telecommunications and Broadcasting), 1982, Articles 4-4H and 6-7

Communications Regulations (Telecommunications and Broadcasting) (Procedures and Conditions for Obtaining a Unified General License), 2010, Article 10

Description:

1. In an enterprise supplying domestic fixed line services:

(a) foreign holding is limited to 80 percent;

(b) 75 percent of the members of the board of directors shall be nationals of Israel who are residents of Israel; and

(c) the director general shall be a national of Israel who is a resident of Israel.

	<p>2 国際通信サービスを提供する企業において、</p> <p>(a) 外国人による持分は、七十四パーセントに制限される。</p> <p>(b) 取締役の過半数は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。</p> <p>(c) 代表取締役は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。</p> <p>(d) 当該企業は、イスラエルにおいて設立されるものとし、イスラエルに主たる業務及び事業の中心地を有するものとする。</p> <p>3 無線通信サービス及び携帯電話サービスを提供する企業において、</p> <p>(a) 外国人による持分は、八十パーセントに制限される。</p> <p>(b) 取締役の過半数は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。</p> <p>(c) 当該企業は、イスラエルにおいて設立されるものとし、イスラエルに主たる業務及び事業の中心地を有するものとする。</p>
--	---

2. In an enterprise supplying international communications services:
- (a) foreign holding is limited to 74 percent;
- (b) majority of the members of the board of directors shall be nationals of Israel who are residents of Israel;
- (c) the director general shall be a national of Israel who is a resident of Israel; and
- (d) the enterprise shall be incorporated in Israel and have its main operations and center of business in Israel.
3. In an enterprise supplying radio and mobile telephone services:
- (a) foreign holding is limited to 80 percent;
- (b) majority of the members of the board of directors shall be nationals of Israel who are residents of Israel; and
- (c) the enterprise shall be incorporated in Israel and have its main operations and center of business in Israel.



十一	分野 小分野 産業分類 関連する義務	通信業 放送業
	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 放送機関法（千九百六十五年） 第四十四条Cから第四十四条Fまで 通信法（電気通信及び放送）（千九百八十二年） 第四条から第四十六条Hまで及び第六十六条から第七十六条まで 通信規則（衛星放送免許に関する条件）（千九百九十八年） 第十三条、第二十條及び第二十一条 テレビ・ラジオ第二機関法（千九百九十年） 第四十一条及び第五十九条 公共放送法（二、千九百九十年） 第六十四条 1 有線放送免許を有する企業において支配の手段の少なくとも二十六パーセントは、イスラエルに居住するイスラエルの国民が保有する。免許は、外国政府が株式を保有する企業に対して付与されない。ただし、通信大臣は、免許を有する企業において、外国政府が株式を保有する企業による十パーセントまでの株式の間接的な保有を認めることができる。 2 衛星放送免許を有する企業において、	

11	Sector:	Communications
	Sub-Sector:	Broadcasting
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7) Broadcasting Authority Law, 1965, Articles 44C-44F Communication Law (Telecommunications and Broadcasting), 1982, Articles 4-4H and 6-7 Communications Regulations (Terms and Conditions for Satellite Broadcasting license), 1998, Articles 13, 20 and 21 Second Authority for Television and Radio Law, 1990, Articles 41 and 59 Public Broadcasting Law, 2014, Article 64
	Description:	1. In an enterprise that holds a license for cable broadcasting at least 26 percent of the means of control in the enterprise shall be held by nationals of Israel who are residents of Israel. The license shall not be granted to an enterprise in which a foreign government holds shares, but the Minister of Communications may authorize an indirect holding in the licensee of up to 10 percent by such an enterprise. 2. In an enterprise that holds a license for satellite broadcasting:

	<p>(a) 支配の手段の少なくとも二十六パーセントは、イスラエルに居住するイスラエルの国民が保有する。</p> <p>(b) 主たる業務及び事業の中心地は、イスラエルに所在する。</p> <p>(c) 取締役及び同等の地位にある者の過半数は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。</p> <p>(d) 代表取締役及び同等の幹部の地位にある者は、イスラエルに居住するイスラエルの国民とする。</p> <p>3 商業的なテレビ放送及び地方のラジオ放送の運営のための特許を有する者における支配の手段の少なくとも五十一パーセントは、イスラエルに居住するイスラエルの国民が保有しなければならない。</p> <p>4 テレビ放送（衛星放送及び有線放送を含む。）に関し、免許又は特許に基づいて運営される放送を行う企業は、その年次予算の一定の額を「措置」に掲げる法令に規定する現地における制作のために使用し、そのように制作されたものを放送することを約束する。</p>

- (a) at least 26 percent of the means of control in the enterprise shall be held by nationals of Israel who are residents of Israel;
  - (b) its main operations and center of business are located in Israel;
  - (c) a majority of its members of the board of directors and any persons in equivalent positions shall be nationals of Israel who are residents of Israel; and
  - (d) its director general or any persons in equivalent management position shall be a national of Israel who is a resident of Israel.
3. At least 51 percent of the means of control in a holder of a concession for operating commercial television broadcasting or regional radio broadcasting must be held by nationals of Israel who are residents of Israel.
4. In television broadcasting, including satellite and cable broadcasting, each broadcasting enterprise operating under license or concession is committed to spend a certain amount of its annual budget for local production, as defined in the legislation listed in the "Measures" element and to broadcast it.

イスラエルとの投資協定

十二	分野 小分野 産業分類 関連する義務	法律サービス
	措置 概要	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 弁護士協会法（千九百六十一年）第二十条 第四十二條及び第九十八條から第九十八條Mまで 1 外国の法律事務所の支店は、弁護士協会法（千九百六十一年）に規定する少なくとも一人のイスラエルの免許を有する弁護士又は外国人の弁護士を雇用し、及び同法に定める条件に従う場合に限り、イスラエルに設立することができる。 2 イスラエルの弁護士としての免許を取得するためには、イスラエルの国籍若しくは永住権又はイスラエルにおける一時的な居住が必要とされる。

12	Sector:	Legal Services
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Bar Association Law, 1961, Articles 20, 42 and 98-98M
	Description:	1. A branch of a foreign law firm may be established in Israel only if it employs either at least one Israeli licensed lawyer or one foreign lawyer, as defined in the Bar Association Law, 1961, and subject to the conditions set forth therein. 2. Nationality, permanent residency or temporary residency of Israel is required for licensure as an Israeli lawyer.

十三		
分野	小分野	探偵サービス
産業分類	関連する義務	内国民待遇（第二条）
措置	概要	1 私立探偵及び警備サービス法（千九百七十二年）第四条、第九条から第十一条まで及び第十三条
		2 私立探偵の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権を必要とする。
		探偵企業の所有権は、免許を有する私立探偵のみが保有することができる。

13	Sector:	Investigation Services
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Private Investigators and Security Services Law, 1972, Articles 4, 9-11 and 13
	Description:	1. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a private investigator.
		2. Ownership of an investigation enterprise may be held only by a licensed private investigator.

イスラエルとの投資協定

十四	
分野	金融サービス
小分野	税理士、通関士、保険業、ノンバンクの信用機関、公衆からの預金その他の払戻しを要する資金の受入れ、決済サービス
産業分類	内国民待遇（第二条）
関連する義務	経営幹部及び取締役会（第七条）
措置	通関士法（千九百六十四年）第四条 金融サービス監督法（年金に関するコンサルタント業、マーケティング及び清算）（二千五年） 税理士による代理の規制法（二千五年）第十条 第五条及び第六条
概要	金融サービス監督法（規制される金融サービス）（二千十六年） 1 税理士の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。 2 通関士の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。 3 年金保険のコンサルタント又は代理人の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。

14

Sector:

Financial Services

Sub-Sector:

Tax Consultant, Customs Agent, Insurance, Non-Banking Credit Institutions, Acceptance of Deposits and Other Repayable Funds from the Public, Payment Services

Industry

Classification:

National Treatment (Article 2)

Obligations

Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Measures:

Customs Agents Law, 1964, Article 4

Supervision of Financial Services Law (Consultancy, Marketing and Clearing for Pension), 2005, Articles 5 and 6

Regulation of Representation by Tax Consultants Law, 2005, Article 10

Supervision of Financial Services Law (Regulated Financial Services), 2016

Description:

1. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a tax consultant.

2. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a customs agent.

3. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a pension insurance consultant or agent.

		<p>4 次の小分野における金融サービスの個人の提供者及び免許を有する個人は、イスラエルの国民又は永住者とし、また、当該サービスを提供する免許を有する企業は、地位を有する者であつて、イスラエルの国民又は永住者であるものを少なくとも一人任命する。</p> <p>(a) ノンバンクの信用サービス</p> <p>(b) 公衆からの預金その他払戻しを要する資金の受入れ（金融資産の保管及び運営を含む。）</p> <p>(c) 決済サービス（送金及び通貨の交換を含む。）</p> <p>注 この表（留保事項十六を除く。）の適用上、「地位を有する者」とは、代表取締役、最高業務責任者、代表取締役代理、副代表取締役若しくは他の同等の地位にある者、取締役又は代表取締役に対して直接報告を行う他の職員であつて、会社法（千九百九十九年）第一条に規定するものをいう。</p>
--	--	---

4. Individual suppliers and individual licensees of financial services in the following sub-sectors shall be nationals or permanent residents of Israel and an enterprise which is a licensee of financial services in the following sub-sectors shall appoint at least one position holder who is a national or permanent resident of Israel:
- (a) non-banking credit services;
  - (b) acceptance of deposits and other repayable funds from the public including keeping and management of financial assets; and
  - (c) payment services including remittance and currency conversion.

Note: For the purposes of this Schedule, except for entry No. 16, "position holder" is the director general, chief business officer, deputy director general, vice director general or any persons in equivalent positions, member of the board of directors or other officers who directly report to the director general, as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999.

イスラエルとの投資協定

十五	分野 小分野	金融業
	産業分類	決済サービス及び清算サービス
	関連する義務	内国民待遇（第二条）
	措置	証券法（千九百六十八年） テルアビブ証券取引所・手形交換所規則第一部第二章第二条
	概要	1 テルアビブ証券取引所（TASE）における決済サービス及び清算サービスは、TASEの 会員であり、かつ、イスラエルに設立される企業によって提供されなければならない。 2 TASEの外国会員の資格（遠隔会員の資格）は、関連する規制の要件を満たす場合におい て取得が可能となる。 3 TASEの遠隔会員は、TASEの決済サービス及び清算サービスを提供することができな い。

15	Sector:	Financial Services
	Sub-Sector:	Settlement and Clearing Services
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Measures:	Securities Law, 1968 By-Laws of the Tel-Aviv Stock Exchange Clearing House Ltd., Part One, Chapter 2, Article 2
	Description:	1. Settlement and clearing services for the Tel-Aviv Stock Exchange (TASE) must be supplied through an enterprise which is a member of TASE and incorporated in Israel. 2. Foreign TASE membership (remote membership) is possible when meeting relevant regulatory requirements. 3. Remote members of the TASE cannot supply settlement and clearing services for the TASE.

十六	分野 小分野 産業分類 関連する義務	郵便サービス、クーリエ・サールビス及び金融サービス  特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 郵便法（千九百八十六年）第一条Hまで、第五条Aから第五条Cまで及び第八十八条から第八十八条Jまで イスラエル郵便会社一般免許（二十五年）第四十二条及び付録。 イスラエル郵便会社一般免許（二十五年）に基づいて郵便サービス、クーリエ・サービス及び金融サービスを行う免許を有する者における取締役及びイスラエル郵便会社一般免許（二十五年）付録cに規定する地位を有する者の過半数は、イスラエルに居住するイスラエルの国民であつて、保安上の認可を有するものとする。
十七	分野 小分野 産業分類 関連する義務 措置 概要	土地測量業  内国民待遇（第二条） 土地測量技術規則（千九百八十二年）第三条 測量に関する政令（千九百二十九年）第三条 土地測量技師の免許を取得するためには、イスラエルの国籍が必要とされる。

16	Sector:  Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned:  Measures:	Postal, Courier and Financial Services    Prohibition of Performance Requirements (Article 6)  Senior Management and Board of Directors (Article 7)  Post Law, 1986, Articles 1-1H, 5A-5C and 88-88U  Israel Postal Company Ltd. General License, 2015, Article 42 and Appendix c
17	Sector:  Sub-Sector: Industry Classification: Obligations Concerned: Measures:  Description:	Land Survey    National Treatment (Article 2)  Land Surveyors Regulations, 1982, Article 3 Survey Ordinance, 1929, Article 3 Israeli nationality is required for licensure as a land surveyor.  Majority of the members of the board of directors and position holders as defined in Appendix c to Israel Postal Company Ltd. General License, 2015, in a licensee operating postal, courier and financial services under the Israel Postal Company Ltd. General License, 2015, shall be nationals of Israel who are residents of Israel and hold a security clearance.



イスラエルとの投資協定

十八				分野
				小分野
				産業分類
				関連する義務
				概要
				経営幹部及び取締役会（第七条） 会社法（千九百十九年）第三十九條及び第二百四十條 公開企業又は公衆に対して債券を発行した企業（以下「社債企業」という。）は、その取締役 会において、イスラエルの国民又は永住者である少なくとも二人の社外取締役を任命する。た だし、公開企業又は社債企業であつて、その株式若しくは債券若しくはこれらの一部がイスラエ ルの国外において一般に公開されたもの又はイスラエルの国外の証券取引所に登録されているも のは、イスラエルの国民又は永住者でない社外取締役を任命する」とができる。

18 Sector: All

Sub-Sector:

Industry  
Classification:

Obligations  
Concerned: Senior Management and Board of  
Directors (Article 7)

Measures: Companies Law, 1999, Articles 239  
and 240

Description:

A public enterprise or an enterprise that has issued debt securities to the public (hereinafter referred to as "debenture enterprise") shall appoint on its board of directors at least two outside directors who are nationals or permanent residents of Israel. However, a public enterprise or a debenture enterprise whose shares or debt, or part of them, were offered to the public outside Israel, or that is registered in a stock exchange outside Israel, may appoint outside directors who are not nationals or permanent residents of Israel.

十九	分野 小分野 産業分類 関連する義務 措置	全ての分野
概要	<p>特定措置の履行要求の禁止（第六条） 破産に関する政令（千九百八十一年） 会社法（千九百九十九年）第三百五十条から第三百五十一条まで 会社に関する政令（千九百八十三年）</p> <p>1 投資家又は投資財産が、破産又は支払不能を宣言され、及び債務の再編の手段の対象となる場合には、イスラエルは、当該手続に必要な範囲内で、技術、製造工程その他の財産的価値を有する知識の移転を要求することができる。</p> <p>2 投資家又は投資財産が、破産又は支払不能を宣言され、及び債務の再編の手段の対象となる企業又は個人とのライセンス契約であって、この協定第六条1(h)に規定するものの当事者である場合には、イスラエルは、当該ライセンス契約の継続及び当該契約の解除又は拒否を要求することができる。</p>	

19	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Bankruptcy Ordinance, 1980  Companies Law, 1999, Articles 350-351  Companies Ordinance, 1983
	Description:	<p>1. When an investor or an investment is declared bankrupt or insolvent and subject to debt restructuring proceedings, Israel may demand a transfer of technology, a production process or other proprietary knowledge to the extent necessary for the proceedings.</p> <p>2. When an investor or an investment is partly to a license contract, as referred to in subparagraph 1(h) of Article 6 of this Agreement, with an enterprise or individual which is declared bankrupt or insolvent and subject to debt restructuring proceedings, Israel may require the continuation of a duration of the license contract and the cancellation or rejection thereof.</p>

二十	
分野 小分野 産業分類 関連する義務	全ての分野
措置	内国民待遇（第二一条） 特定措置の履行要求の禁止（第六一条） 危険物質法（千九百九十二年） アスベストの危険及び損害を与える粉じんの防止法（二千十一年） 電気機器及び電子機器並びに電池の環境に配慮した処理法（千十二年） 水に関する法（千九百五十九年） 危険物質規則（危険物質の輸出入）（千九百九十四年） 害虫防除方法規制法（二千十六年） こん包材料取扱法（二千十一年） 1 危険物質取扱者の許可を受けるためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。 2 電気機器及び電子機器並びに電池の環境に配慮した処理のための廃棄物処分を行う企業は、イスラエルの国民又は永住者のみを雇用する。 3 害虫防除者の免許を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。 4 アスベストの回収及び処理のための許可を取得するためには、イスラエルの国籍又は永住権が必要とされる。

20	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Measures:	Law for Hazardous Substances, 1993 Law for the Prevention of Asbestos Hazards and Damaging Dust, 2011 Law of Environmental Treatment of Electrical and Electronic Equipment and Batteries, 2012 Water Law, 1959 Hazardous Substances Regulations (Import and Export of Hazardous Substances), 1994 Law for the Regulation of the Practice of Pest Control, 2016 Law for the Treatment of Packing Material, 2011
	Description:	1. Nationality or permanent residency of Israel is required for hazardous substances handler permit. 2. A refuse disposal enterprise for environmental treatment of electrical and electronic equipment and batteries shall employ only nationals or permanent residents of Israel. 3. Nationality or permanent residency of Israel is required for licensure as a pest exterminator. 4. Nationality or permanent residency of Israel is required to obtain a permit for collection and treatment of asbestos.

	<p>5 アスベストの解体又は除去を行うアスベストの請負業者の少なくとも一人の従業員は、イスラエルの国民又は永住者とする。</p> <p>6 こん包材料の廃棄物の輸出は、こん包材料取扱法（二十一年）に従って再生利用の目標の二十パーセントに制限される。</p> <p>7 危険物質の輸出許可を取得するためには、環境保護省による承認が必要とされる。</p>
<p>二十一</p> <p>分野</p> <p>小分野</p> <p>産業分類</p> <p>関連する義務</p> <p>措置</p> <p>概要</p>	<p>雇用請負サービス</p> <p>建物の清掃サービス</p> <p>経営幹部及び取締役会（第七条）</p> <p>民間雇用請負業者による労働者雇用法（千九百九十六年）</p> <p>会社法（千九百九十九年）第一条</p> <p>建物の清掃サービスにおいて労働者を雇用する民間雇用請負企業は、地位を有する者であつて、イスラエルの国民又は永住者であるものを少なくとも一人任命する。</p>

<p>21 Sector:</p> <p>Sub-Sector:</p> <p>Industry Classification:</p> <p>Obligations Concerned:</p> <p>Measures:</p> <p>Description:</p>	<p>5. At least one employee of an asbestos contractor, that performs dismantling and removal of asbestos, shall be a national or permanent resident of Israel.</p> <p>6. Export of packaging material waste is limited to 20 percent of the recycling objective in accordance with the law for the Treatment of Packing Material, 2011.</p> <p>7. Obtainment of permit for export of hazardous substances requires authorization by the Ministry of Environmental Protection.</p>
<p>Employment Contractors Services</p> <p>Building Cleaning Services</p>	<p>Senior Management and Board of Directors (Article 7)</p> <p>Law of Employment of Workers by Private Employment Contractors, 1996</p> <p>Companies Law, 1999, Article 1</p>
<p>A private employment contractor enterprise for employment of workers in the building cleaning services shall appoint at least one position holder who is a national or permanent resident of Israel.</p>	

イスラエルとの投資協定

附属書 II

附属書 II 第八条 2 に規定する適合しない措置

第八条 2  
に規定する  
適合しない  
措置

- 1 締約国の表は、当該締約国が次のいずれかの規定により課される義務に適合しない現行の措置を維持し、又は新たな若しくは一層制限的な措置を採用することができる特定の分野、小分野又は活動について、第八条 2 の規定に従って記載するものである。
  - (a) 第二条
  - (b) 第三条
  - (c) 第六条
  - (d) 第七条
- 2 表の留保事項には、次の事項を記載する。
  - (a) 分野。「分野」には、留保事項が対象とする分野を示す。
  - (b) 小分野。「小分野」には、記載する場合には、留保事項が対象とする個別の小分野を示す。
  - (c) 産業分類。「産業分類」には、記載する場合には、適合しない措置の対象となる活動であって国内産業分類又は国際産業分類の下で行われるものを透明性の観点からのみ示す。
  - (d) 関連する義務。「関連する義務」には、1 に規定する義務であって、第八条 2 の規定に従って、留保事項に掲げる分野、小分野又は活動について適用しないものを特定する。
  - (e) 概要。「概要」には、留保事項が対象とする分野、小分野又は活動についての範囲又は性質を記載する。
  - (f) 現行の措置。「現行の措置」には、特定する場合には、留保事項が対象とする分野、小分野又は活動について適用する現行の措置の「一覧（全てを網羅するものではないもの）」を透明性の観点から明示する。
- 3 留保事項の解釈に当たっては、当該留保事項に関する全（の）事項を考慮する。「概要」は、他の全（の）事項に優先する。

四三八

Annex II  
Non-Conforming Measures referred to  
in paragraph 2 of Article 8

1. The Schedule of a Contracting Party sets out, pursuant to paragraph 2 of Article 8, the specific sectors, sub-sectors or activities for which that Contracting Party may maintain existing, or adopt new or more restrictive, measures that do not conform with obligations imposed by:
  - (a) Article 2;
  - (b) Article 3;
  - (c) Article 6; or
  - (d) Article 7.
2. Each Schedule entry sets out the following elements:
  - (a) "sector" refers to the sector for which the entry is made;
  - (b) "Sub-Sector", where referenced, refers to the specific sub-sector for which the entry is made;
  - (c) "Industry Classification", where referenced, and only for transparency purposes, refers to the activity covered by the non-conforming measure, according to domestic or international industry classification codes;
  - (d) "Obligations Concerned" specifies the obligations referred to in paragraph 1 that, pursuant to paragraph 2 of Article 8, do not apply to the sectors, sub-sectors or activities listed in the entry;
  - (e) "description" sets out the scope or nature of the sectors, sub-sectors or activities covered by the entry; and
  - (f) "Existing Measures", where specified, identifies, for transparency purposes, a non-exhaustive list of existing measures that apply to the sectors, sub-sectors or activities covered by the entry.
3. In the interpretation of an entry, all elements of the entry shall be considered. The "description" element shall prevail over all other elements.

4 この附属書の適用上、

- (a) 「J S I C」とは、総務省が作成し、二千十三年十月三十日に改定した日本標準産業分類の番号をいう。
- (b) 「C P C」とは、暫定的な中央生産物分類（統計文書M第七十七号、国際連合国際経済社会局統計部、ニューヨーク、千九百九十一年）の番号をいう。

4. For the purposes of this Annex:

- (a) the term "JSIC" means Japan Standard Industrial Classification set out by the Ministry of Internal Affairs and Communications, and revised on October 30, 2013; and
- (b) the term "CPC" means Provisional Central Product Classification (Statistical Papers Series M No. 77, Department of International Economic and Social Affairs, Statistical Office of the United Nations, New York, 1991).

イスラエルとの投資協定

日本国の表

一	
分野 小分野 産業分類	全ての分野
関連する義務	内国民待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
概要	日本国は、公的企業又は政府機関の持分又は資産を移転し、又は処分する場合に、次の（a）を行う権利を留保する。 （a）イスラエル国の投資家又はその投資財産がそのような持分又は資産を所有する（b）を禁止し、又は制限すること。 （b）イスラエル国の投資家又はその投資財産がそのような持分又は資産の所有者として後継企業を支配する能力を制限する（c）。 （c）後継企業の役員、理事又は取締役の国籍に関する措置を採用し、又は維持する（d）。
現行の措置	

附則

Schedule of Japan

1	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	When transferring or disposing of its equity interests in, or the assets of, a state enterprise or a governmental entity, Japan reserves the right to: (a) prohibit or impose limitations on the ownership of such interests or assets by investors of the State of Israel or their investments; (b) impose limitations on the ability of investors of the State of Israel or their investments as owners of such interests or assets to control any resulting enterprise; or (c) adopt or maintain any measure relating to the nationality of executives, managers or members of the board of directors of any resulting enterprise.
	Existing Measures:	

二	分野
小分野	全ての分野
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
概要	指定された企業又は政府機関（以下この留保事項において「企業等」という。）にのみ認められている日本国における電信サービス、郵便サービス及び公営競技等に係るサービスの提供、たばこの製造、日本銀行券の製造並びに貨幣の製造及び販売がこれらの指定された企業等以外の企業等に対して自由化される場合又はこれらの指定された企業等が非商業的な原則に基づいて運営されなくなる場合には、日本国は、これらの活動に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
現行の措置	

2 Sector: All

Sub-Sector:

Industry Classification:

Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)  
Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Description:

In the event where the supply of telegraph services, postal services are betting and gambling services, manufacture of tobacco products, manufacture of Bank of Japan notes and minting and sale of coinage in Japan, which are restricted to designated enterprises or governmental entities, are liberalized to those other than the designated enterprises or governmental entities, or in the event where such designated enterprises or governmental entities no longer operate on a non-commercial basis, Japan reserves the right to adopt or maintain any measure related to those activities.

Existing Measures:



三	
分野 小分野 産業分類 関連する義務	全ての分野
概要	最恵国待遇（第三条） 日本国は、二国間又は多数国間の協定に基づき各国に対し異なる待遇を与える措置であつて、次のいずれかの事項に関係するものを採用し、又は維持する権利を留保する。 (a) 航空 (b) 漁業 (c) 海事（海難救助を含む。）
現行の措置	

3	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
	Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure that accords differential treatment to countries under any bilateral or multilateral agreement involving: (a) aviation; (b) fisheries; or (c) maritime matters, including salvage.
	Existing Measures:	

四		全ての分野
分野	小分野	
産業分類	産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第三条） 補助金については、イスラエル国の投資家及びその投資財産に対し内国民待遇及び最恵国待遇を与えないことができる。	
概要	現行の措置	
五		
分野	航空宇宙産業	
小分野	航空機産業 宇宙開発産業	
産業分類	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）	
関連する義務	日本国は、航空機産業及び宇宙開発産業への投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条及び第三十条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十号）第三十条及び第七条	
概要		
現行の措置		

4	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
	Description:	National Treatment and Most-Favored-Nation Treatment may not be accorded to investors of the State of Israel and their investments with respect to subsidies.
	Existing Measures:	
5	Sector:	Aerospace Industry
	Sub-Sector:	Aircraft Industry Space Industry
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Description:	Senior Management and Board of Directors (Article 7) Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to the investment in aircraft industry and space industry.
	Existing Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Articles 27 and 30 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Articles 3 and 5

イスラエルとの投資協定

六	
分野 小分野	武器・火薬産業 武器産業 火薬類製造業
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 日本国は、武器産業及び火薬類製造業への投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
概要	
現行の措置	外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条及び第三十条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条及び第五條

222

6	Sector:	Arms and Explosives Industry
	Sub-Sector:	Arms Industry Explosives Manufacturing Industry
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to the investment in the arms industry and explosives manufacturing industry.
	Existing Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Articles 27 and 30 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Articles 3 and 5

七	分野	エネルギー産業
	小分野	電気業 ガス業
	産業分類	原子力産業
	関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 日本国は、「小分野」に掲げるエネルギー産業への投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	概要	外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百一十八号）第二十七条及び第三十条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条及び第五条
	現行の措置	

7	Sector:	Energy
	Sub-Sector:	Electricity Utility Industry Gas Utility Industry Nuclear Energy Industry
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to investment in the energy industry listed in the "Sub-Sector" element.
	Existing Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Articles 27 and 30 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Articles 3 and 5

八	
分野	漁業
小分野	領海、内水、排他的経済水域及び大陸棚における漁業
産業分類	J S I C 〇三二 海面漁業
	J S I C 〇三三 内水面漁業
	J S I C 〇四一 海面養殖業
	J S I C 〇四二 内水面養殖業
	J S I C 八〇九三 遊漁船業
関連する義務	内国民待遇 (第一条)
	最恵国待遇 (第二条)
	特定措置の履行要求の禁止 (第六条)
	経営幹部及び取締役会 (第七条)
概要	日本国は、自国の領海、内水、排他的経済水域及び大陸棚における漁業への投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	この留保事項の適用上、「漁業」とは、水産資源の採取及び養殖の事業をいし、漁業に関連する次の活動を含む。
	(a) 水産資源の採取を伴わない調査
	(b) 集魚
	(c) 漁獲物の保蔵及び加工

8	Sector:	Fisheries
	Sub-Sector:	Fisheries within the Territorial Sea, Internal Waters, Exclusive Economic Zone and Continental Shelf
	Industry Classification:	J S I C 031 Marine fisheries J S I C 032 Inland water fisheries J S I C 041 Marine aquaculture J S I C 042 Inland water aquaculture J S I C 8093 Recreational fishing guide business
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to investment in fisheries in the territorial sea, internal waters, exclusive economic zone and continental shelf of Japan. For the purposes of this entry, the term "fisheries" means the work of taking and cultivation of aquatic resources, including the following fisheries related activities: (a) investigation of aquatic resources without taking such resources; (b) luring of aquatic resources; (c) preservation and processing of fish catches;

現行の措置	
(d) 漁獲物及びその製品の輸送	
(e) 漁業に使用される他の船舶への補給	
外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条	
対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十一号）第三条	
外国人漁業の規制に関する法律（昭和四十二年法律第六十号）第二条、第四条及び第六条	
排他的経済水域における漁業等に関する主権的権利の行使等に関する法律（平成八年法律第七十六号）第四条、第五条、第七条から第十二条まで及び第十四条	

(d) transportation of fish catches and fish products; and

(e) provision of supplies to other vessels used for fisheries.

Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27

Existing Measures:

Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3

Law for Regulation of Fishing Operation by Foreign Nationals (Law No. 60 of 1967), Articles 3, 4 and 6

Law concerning the Exercise of Sovereign Rights concerning Fisheries in the Exclusive Economic Zones (Law No. 76 of 1996), Articles 4, 5, 7, 8, 9, 10, 11, 12 and 14

九		情報通信業
分野	小分野	放送業
産業分類	J S I C 三八〇 管理、補助的経済活動を行う事業所 J S I C 三八一 公共放送業（有線放送業を除く。） J S I C 三八二 民間放送業（有線放送業を除く。） J S I C 三八三 有線放送業	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）	
概要	日本国は、放送業への投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 外国為替及び外国貿易法（昭和二十四年法律第二百二十八号）第二十七条 対内直接投資等に関する政令（昭和五十五年政令第二百六十号）第三条 電波法（昭和二十五年法律第二百一十一号）第二章	
現行の措置	放送法（昭和二十五年法律第二百一十一号）第五章及び第八章	

Sector:	Information and Communications
Sub-Sector:	Broadcasting Industry
Industry Classification:	JSIC 380 Establishments engaged in administrative or ancillary economic activities
	JSIC 381 Public broadcasting, except cablecasting
	JSIC 382 Private-sector broadcasting, except cablecasting
	JSIC 383 Cablecasting
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to investment in broadcasting industry.
Existing Measures:	Foreign Exchange and Foreign Trade Law (Law No. 228 of 1949), Article 27 Cabinet Order on Foreign Direct Investment (Cabinet Order No. 261 of 1980), Article 3 Radio Law (Law No. 131 of 1950), Chapter 2 Broadcast Law (Law No. 132 of 1950), Chapters 5 and 8

十		
分 野	土地取引に関する事項	
小 分 野		
産業分類		
関連する義務	内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第三条）	
概要	政令により日本国における外国人又は外国の法人による土地の取得又は賃貸借を禁止し、又は制限することができる。ただし、日本国の国民又は法人が、その外国において、同一又は類似の禁止又は制限を課されている場合に限る。	
現行の措置	外国人土地法（大正十四年法律第四十二号） 第一条	

10	Sector:	Land Transaction
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
	Description:	With respect to the acquisition or lease of land properties in Japan, prohibitions or restrictions may be imposed by Cabinet Order on foreign nationals or legal persons, where Japanese nationals or legal persons are placed under identical or similar prohibitions or restrictions in the foreign country.
	Existing Measures:	Alien Land Law (Law No. 42 of 1925), Article 1



イスラエルとの投資協定

十一	
分野 小分野	法の執行及び矯正に係るサービス並びに社会事業サービス
産業分類 関連する義務	内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第三条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
概要	日本国は、法の執行及び矯正に係るサービスへの投資に関する措置並びに所得に関する保障又は保険、社会保障又は社会保険、社会福祉、初等教育及び中等教育、公衆のための訓練、保健、保育等の社会事業サービスへの投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
現行の措置	

四四〇

11 Sector:	Public Law Enforcement and Correctional Services and Social Services
Sub-Sector:	
Industry Classification:	
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
Description:	Japan reserves the right to adopt or maintain any measure relating to investment in public law enforcement and correctional services, and in social services such as income security or insurance, social welfare, primary and secondary education, public training, health and child care.
Existing Measures:	

十二	分野	運輸業
	小分野	航空運輸業
	産業分類	
	関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 日本国は、空港及び空港運営サービスへの投資に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	概要	この留保事項の適用上、「空港運営サービス」とは、空港ターミナル、離着陸場その他の空港における基盤の運営サービスを利用料の支払又は契約に基づいて提供することをいう。空港運営サービスには、航空交通サービスを含まない。
	現行の措置	

12 Sector:

Transport

Sub-Sector:

Air Transport

Industry Classification:

Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)  
Prohibition of Performance Requirements (Article 6)  
Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Description:

Japan reserves the right to adopt or maintain any measure with respect to investment in airports or airport operation services.

For the purposes of this entry, the term "airport operation services" means the supply of air terminal, airfield and other airport infrastructure operation services on a fee or contract basis. Airport operation services do not include air navigation services.

Existing Measures:

イスラエルとの投資協定

イスラエル国の表

一	
分野	土地及び不動産に関する事項
小分野	
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条）
概要	外国の国民又は外国の国民が支配する企業による土地及び不動産に対する権利の取得は、イスラエル土地庁審議会が事前に承認することを条件とする。
現行の措置	イスラエル土地法（千九百六十年）

四五一

Schedule of the State of Israel

1	Sector:	Land and Real Estate
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2)
	Description:	The acquisition of rights to land and real estate by foreign nationals or enterprises controlled by foreign nationals is subject to the prior approval by the Israel Land Authority Council.
	Existing Measures:	Israel's Land Law, 1960

二	分野	運輸業
小分野	空港及び港	
産業分類		
関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条）	
概要	経営幹部及び取締役会（第七条） イスラエル国（以下この表において「イスラエル」という。）は、空港及び港に関する措置（建設、地上取扱業務並びに空港及び港で提供し、又は運営するサービスを含むものとし、海運港湾当局法（二千年）に規定する海運開発資産会社、港湾会社及び承認された社を国家の重要な利益に関する命令又は他のあらゆる制限に従わせるものを含む。）を採用し、又は維持する権利を留保する。 海運港湾当局法（二千年） 海運港湾当局法（二千年） 海運に関する政令（千九百七十年） 海運及び港湾に関する命令（エイラート港湾株式会社における国家の重要な利益の公表）（二十一年） 空港当局法（千九百七十七年）	
現行の措置		

## 2 Sector:

Transportation

### Sub-Sector:

Airports and Ports

### Industry Classification:

### Obligations Concerned:

National Treatment (Article 2)  
Prohibition of Performance Requirements (Article 6)  
Senior Management and Board of Directors (Article 7)

### Description:

The State of Israel (hereinafter referred to in this Schedule as "Israel") reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to airports and ports, including construction, ground handling services and services supplied or operated in airport and ports and including subjecting ports development and assets companies, port companies and authorized companies, as defined in the Shipping and Ports Authority Law, 2004, to an order of essential state interests, or to any other restrictions.

### Existing Measures:

Shipping and Ports Authority Law, 2004  
Ports Ordinance, 1971  
Shipping and Ports Order (Announcement on Essential State Interests in Elat Port Company Ltd.), 2012  
Airports Authority Law, 1977

イスラエルとの投資協定

三	分野	運輸業
	小分野	輕量鉄道
	産業分類	
	関連する義務	内国民待遇（第二條） 特定措置の履行要求の禁止（第六條） 経営幹部及び取締役会（第七條）
	概要	イスラエルは、輕量鉄道に関する措置（輕量鉄道に関連する製造及びサービスを含む。）を採用し、又は維持する権利を留保する。 鉄道に関する政令（千九百七十二年）
	現行の措置	

四五四

3	Sector:	Transportation
	Sub-Sector:	Light Rail Transit
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to light rail transit, including manufacturing and services related to light rail transit.
	Existing Measures:	Railroad Track Ordinance, 1972

四	
分野	運輸業
小分野	道路輸送補助サービス及び旅客運送
産業分類	C P C 七四四 道路輸送補助サービス C P C 七二二 その他の定期旅客運送
関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
概要	イスラエルは、道路輸送補助サービス及び旅客運送に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。この留保事項は、乗合用バス及びその部品の製造を含まない。
現行の措置	

4 Sector:	Transportation
Sub-Sector:	Supporting Services for Road Transport and Passenger Transportation
Industry Classification:	CPC 744 Supporting services for road transport CPC 7121 Other scheduled passenger transportation
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to supporting services for road transport and passenger transportation. This entry does not include manufacturing of omnibus and components for omnibus.

Existing Measures:

五		
分野 小分野	運輸業	
産業分類	内航海運業	
関連する義務	内国民待遇（第二条）	
概要	特定措置の履行要求の禁止（第六条） イスラエルは、内航海運業に関する措置であつて、内国民待遇又は内航海運業に従事する船舶の船員の雇用に関するものを採用し、又は維持する権利を留保する。	
現行の措置	内航海運法（外国の海洋船舶に対する許可）（二十五年） 内航海運に関する政令（外国の海洋船舶に対する許可）（許可の申請）（二十二年）	

Sector:	Transportation
Sub-Sector:	Maritime Cabotage
Industry Classification:	
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to maritime cabotage involving national treatment or employment of seafarers on vessels performing cabotage.
Existing Measures:	Law of Cabotage (Permit for a Foreign Sea Vessel), 2005 Cabotage Ordinance (Permit for a Foreign Sea Vessel) (Request for Permit), 2012

六	分野 小分野 産業分類 関連する義務	人の健康、教育、法の執行及び矯正に係るサービス並びに社会事業サービス 内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） イスラエルは、人の健康（健康に関する機関、機器、サービス、データの交換及び製品を含む。）、教育、法の執行及び矯正に係るサービス並びに社会事業サービス（所得に関する保障又は保険、社会保障又は社会保険、社会福祉、公営住宅及び保育を含む。）に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。ただし、この社会事業サービスは、公共の目的のために設立され、又は維持される範囲内に限る。
	概要	
	現行の措置	

6 Sector: Human Health, Education, Law Enforcement and Correctional Services and Social Services

Sub-Sector:

Industry Classification:

Obligations Concerned: National Treatment (Article 2)  
Prohibition of Performance Requirements (Article 6)

Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Description: Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to human health including health institutions, equipment, services, data exchange and products, education, law enforcement and correctional services and, to the extent they are established or maintained for a public purpose, social services including income security or insurance, social security or insurance, social welfare, public housing and child care.

Existing Measures:



七	分野 小分野 産業分類	流通サービス
	C P C	六二二二二
	C P C	六二二二三
	C P C	六二二一七
	C P C	六二二一六
	C P C	六二二三八
	C P C	六二二三五
	C P C	六二二二七
	C P C	六二二〇七

7	Sector:	Distribution Services
	Sub-Sector:	
	Industry	
	Classification:	
	CPC 62112	Sales on a fee or contract basis of food products, beverages and tobacco
	CPC 62113	Sales on a fee or contract basis of fuels, metals, ores, timber, building materials and industrial and technical chemicals
	CPC 62117	Sales on a fee or contract basis of pharmaceutical and medical goods and cosmetics
	CPC 62226	Wholesale trade services of beverages
	CPC 62228	Wholesale trade services of tobacco products
	CPC 6225	Wholesale trade services of pharmaceutical and medical goods and cosmetics
	CPC 6227	Wholesale trade services of intermediate products, other than agricultural; wholesale trade services of waste and scrap and materials for recycling
	CPC 63107	Retail sales of beverages not consumed on the spot

関連する義務	概要
C P C 六三〇八	たばこの小売販売
C P C 六三一一	医薬品、医療用品及び化粧品の小売販売
内国民待遇(第二条)	
特定措置の履行要求の禁止(第六条)	
経営幹部及び取締役会(第七条)	
イスラエルは、次の流通サービスに関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。	
(a) 次のいずれかの問屋サービス	
(i) アルコール飲料及びたばこ	
(ii) 燃料	
(iii) 医薬品、医療用品及び化粧品	
(b) 次のいずれかの卸売サービス	
(i) アルコール飲料	
(ii) たばこ	
(iii) 医薬品、医療用品及び化粧品	
(iv) 農産物以外の中間製品並びに再利用のための廃品、くず及び材料	
(c) 次のいずれかの食品の小売サービス	
(i) アルコール飲料	
(ii) たばこ	

CPC 63108	Retail sales of tobacco products
CPC 6321	Retail sales of pharmaceutical and medical goods and cosmetics
Obligations Concerned:	
National Treatment (Article 2)	
Prohibition of Performance Requirements (Article 6)	
Senior Management and Board of Directors (Article 7)	
Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to distribution services as following:	
(a) commission agents' services for:	
(i) alcoholic beverages and tobacco products;	
(ii) fuels; or	
(iii) pharmaceutical and medical goods and cosmetics;	
(b) wholesale trade services for:	
(i) alcoholic beverages;	
(ii) tobacco products;	
(iii) pharmaceutical and medical goods and cosmetics; or	
(iv) intermediate products other than agricultural; waste and scrap and materials for recycling;	
(c) food retailing services for:	
(i) alcoholic beverages; or	
(ii) tobacco products; and	

イスラエルとの投資協定

八	
現行の措置	(d) 医薬品、医療用品及び化粧品に関する食品以外の小売サービス
分野	計画に関する事項及び建設業
小分野	建設業
産業分類	
関連する義務	最恵国待遇（第二条）
概要	イスラエルは、建設業の分野における企業に対する特定の有利な待遇を与える措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
現行の措置	

四一〇

	(d) non-food retailing services for pharmaceutical and medical goods and cosmetics.
Existing Measures:	
Sector:	Planning and Construction
Sub-Sector:	Construction
Industry Classification:	
Obligations Concerned:	Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure that accords certain advantages with regard to enterprises in the construction sector.
Existing Measures:	

九	金融サービス
分野	金融サービス
小分野	
産業分類	
関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
概要	イスラエルは、次の金融サービスに関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 (a) 信用を供与し、及び預金を受け入れる金融協同組合（信用組合） (b) 相互扶助のための無利子の貸付け及び預金を扱う機関 (c) クレジットカードの発行者及び取引の処理を行う者 (d) 決済サービス提供者（PSP） (e) クラウド・ファンディングのプラットフォーム (f) 信用情報データベース（信用情報機関） (g) 金融商品の仲立業及び証券業を行う者。仲立業及び証券業を行う者とは、証券を売買する事業を行う者又は会社であつて、仲立業者及び証券業者の双方の業務を行うものをいう。

9	Sector:	Financial Services
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with respect to the following financial services:

- (a) cooperative financial associations providing credit and accepting deposits (Credit Unions);
- (b) no interest credit and deposit institutions for mutual assistance;
- (c) credit card issuers and processors;
- (d) payment service providers (PSP);
- (e) platforms for crowd funding;
- (f) credit information database (credit bureau); or
- (g) broker-dealers of financial instruments. A broker-dealer is a person or a firm in the business of buying and selling securities, operating as both a broker and a dealer.

イスラエルとの投資協定

+	
現行の措置	注 「無利子の貸付け及び預金を扱う機関」とは、三十以上の預金者を受け入れ、並びに預金サービス及び貸付金を双方とも無利子で提供することを認められた機関をいう。
分野	郵便サービス及びクーリエ・サービス
小分野	
産業分類	内国民待遇（第二条）
関連する義務	特定措置の履行要求の禁止（第六条）
概要	経営幹部及び取締役会（第七条）
現行の措置	イスラエルは、五百グラム未満の物のための郵便サービス及びクーリエ・サービスに関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。

Note: "A no interest credit and deposit institution" is an institution that is authorized to accept 30 or more depositors and to provide deposit services and loans both with no interest rate.

Existing Measures:

10

Postal and Courier Services

Sub-Sector:

Industry Classification:

Obligations Concerned: National Treatment (Article 2)

Prohibition of Performance Requirements (Article 6)

Senior Management and Board of Directors (Article 7)

Description:

Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with respect to postal and courier services for any item below 500 gram.

Existing Measures:

十一	分野	技術的な試験及び分析のためのサービス 送水 林業に付随するサービス 人以外を対象とした健康に関するサービス 炭化水素、鉱物、石及び骨材の探査及び探掘、使用並びに販売 通信業 運輸業 エネルギー産業（天然ガス、石油及び電力を含む。）
	小分野	
	産業分類	
	関連する義務	特定措置の履行要求の禁止（第六条） 1 イスラエルは、「分野」に掲げる分野（エネルギー産業の分野を除く。）における特許又は免許の付与に関する措置（この協定第六条1(h)の規定に關係する措置を除く。）を採用し、又は維持する権利を留保する。 2 イスラエルは、エネルギー産業の分野における特許又は免許の付与に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	現行の措置	

11	Sector:	Technical Testing and Analysis Services Water Transmission Services Incidental to Forestry and Logging Non-Human Health Services Exploration and Exploitation, Use and Sale of Hydrocarbons, Minerals, Stone and Aggregates Communications Transportation Energy, including the Natural Gas, Oil and Electricity
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Description:	1. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure, excluding measures involving subparagraph 1(h) of Article 6 of this Agreement, with regard to the granting of concessions or licenses in the sectors listed in the "Sector" element, except energy sector. 2. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to the granting of concessions or licenses in the energy sector.
	Existing Measures:	

十二	
分野	全ての分野
小分野	民営化
産業分類	内国民待遇(第二条)
関連する義務	特定措置の履行要求の禁止(第六条)
概要	経営幹部及び取締役会(第七条)
	1 イスラエルは、公的企業又は政府機関の持分又は資産を移転し、又は処分する場合には、次のことを行う権利を留保する。
	(a) 日本国の投資家又はその投資財産がそのような持分又は資産を所有することを禁止し、又は制限すること。
	(b) 日本国の投資家又はその投資財産がそのような持分又は資産の所有者として後継企業を支配する能力を制限すること。
	(c) 後継企業の取締役、地位を有する者又は特定の職員の国籍又は永住権に関する措置を採用し、又は維持すること。
	(d) 後継企業の経営、主たる業務及び事業の中心地の場所を制限すること。

12 Sector:	All
Sub-Sector:	Privatization
Industry Classification:	
Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
Description:	1. When transferring or disposing of its equity interests in, or the assets of, a state enterprise or a governmental entity, Israel reserves the right to:  (a) prohibit or impose limitations on the ownership of such interests or assets by investors of Japan or their investments;  (b) impose limitations on the ability of investors of Japan or their investments as owners of such interests or assets to control any resulting enterprise;  (c) adopt or maintain any measure relating to the nationality or permanent residency of members of the board of directors, position holders or certain officers of any resulting enterprise; or  (d) impose limitations on the location of management, main operations and center of business of any resulting enterprise.

注 この表の適用上、「地位を有する者」とは、代表取締役、最高業務責任者、代表取締役代理、副代表取締役若しくは他の同等の地位にある者、取締役又は代表取締役に対して直接報告を行う他の職員であって、会社法（千九百九十九年）第一条に規定するものをいう。さらに、代表取締役は、最高経営責任者と同等の地位であることが了解される。	
2	指定された企業又は政府機関（以下この留保事項において「企業等」という。）にのみ認められているサービスの提供がこれらの指定された企業等以外の企業等に対して自由化される場合又はこれらの指定された企業等が非商業的な原則に基づいて運営されなくなる場合には、イスラエルは、これらの活動に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
政府企業法（特別国家保有株式を含む。）（千九百七十五年）	政府の企業に関する政令（アシヨット・アシケロン産業株式会社における国家の重要な利益の公表）（二千五年）
政府の企業に関する政令（オイル・リファイナーズ株式会社における国家の重要な利益の公表）（二千七年）	政府の企業に関する政令（アシエドッド・オイル・リファイナー株式会社における国家の重要な利益の公表）（二千六年）

Note: For the purposes of this Schedule "position holder" is the director general, chief business officer, deputy director general, vice director general or any persons in equivalent positions, member of the board of directors or other officers who directly report to the director general, as defined in Article 1 of the Companies Law, 1999. Further it is understood that director general is an equivalent position to chief executive officer.

2. In the event where the supply of services, which is restricted to designated enterprises or governmental entities, is liberalized to those other than the designated enterprises or governmental entities, or in the event where such designated enterprises or governmental entities no longer operate on a non-commercial basis, Israel reserves the right to adopt or maintain any measure related to those activities.

#### Existing Measures:

Government Companies Law (including Special State Share), 1975

Government Companies Order (Announcement on Essential State Interests in Ashot Ashkelon Industries Ltd.), 2005

Government Companies Order (Announcement on Essential State Interests in Oil Refineries Ltd.), 2007

Government Companies Order (Announcement on Essential State Interests in Oil Refinery - Ashdod Ltd.), 2006



十三	分野 小分野 産業分類 関連する義務 概要 現行の措置	政府の企業に関する政令（エルアル・イスラエル航空株式会社における国家の重要な利益の公表）（二千四年） 政府の企業に関する政令（アイ・エム・アイ・システムズ株式会社における国家の重要な利益の公表）（二千十六年） イスラエル・ケミカル株式会社及びその子会社における特別国家保有株式 ツィム統合海運事業株式会社における特別国家保有株式 エルアル・イスラエル航空株式会社における特別国家保有株式
		全ての分野 内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） イスラエルは、社会的又は経済的に不利な立場にある集団（少数派、障害者、退役軍人及び戦死したイスラエルの兵士の一親等以内の家族を含む。）の利益及び周辺の地域の開発のための政策上の目的を推進する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。

13	Sector:	All	Government Companies Order (Announcement on Essential State Interests in El-Al Israel Airlines Ltd.), 2004
	Sub-Sector:		Government Companies Order (Announcement on Essential State Interests in IMI Systems Ltd.), 2016
	Industry Classification:		Special State Share in Israel Chemicals Ltd. and in its Subsidiary Companies
	Obligations Concerned:		Special State Share in Zim Integrated Shipping Services Ltd. Special State Share in El-Al Israel Airlines Ltd.
	Description:		Israel reserves its right to adopt or maintain measures to promote policy objectives for the benefit of socially or economically disadvantaged groups, including minorities, disabled persons, military veterans and first-degree family members of Israeli fallen soldiers and the development of its peripheral areas.
	Existing Measures:		

十四	分野	通信業
	小分野	衛星放送 有線放送 テレビ放送及びラジオ放送 衛星電気通信サービス
	産業分類	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
	概要	1 衛星放送、有線放送、テレビ放送又はラジオ放送を運営する者における取締役及び地位を有する者については、イスラエルに居住するイスラエルの国民（一定の場合には、保安上の認可を有する者とする。）であることが必要とされ、かつ、関連する規制機関による承認を条件とする。 2 イスラエルは、伝送網の終端地点の間での声、データ、文章、音及びフル・モーション・ビデオの送信のための衛星通信施設に関する免許の付与並びに衛星システムによる消費者向けのテレビ番組及びラジオ番組の送信についてのサービスのための免許の付与に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	現行の措置	

14	Sector:	Communications
	Sub-Sector:	Satellite Broadcasting Cable Broadcasting Television and Radio Broadcasting Satellite Telecommunications Services
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	1. Members of the boards of directors and position holders in a licensee of satellite broadcasting, cable broadcasting, television broadcasting or radio broadcasting are required to be nationals of Israel who are residents of Israel in some cases with security clearance and are subject to approval by the relevant regulator. 2. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to licensing of satellite communications facilities for the transmission of voice, data, text, sound and full motion picture video between network termination points and with regard to licensing of services for the transmission of television and radio programs to the consumer by a satellite system.
	Existing Measures:	

イスラエルとの投資協定

十五	分野	全ての分野
	小分野	補助金及び贈与
	産業分類	
	関連する義務	内国民待遇（第二条） 最恵国待遇（第二条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
	概要	イスラエルは、補助金又は贈与（公的に支援される借款、保証又は保険を含む。）に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	現行の措置	産業における研究、開発及び技術革新の奨励法（千九百八十四年） 資本投資奨励法（千九百五十九年） 農業資本投資奨励法（千九百八十年）

15	Sector:	All
	Sub-Sector:	Subsidies and Grants
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
	Description:	Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Existing Measures:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to subsidies or grants, including a government-supported loan, guarantee or insurance. Law for Encouragement of Research, Development and Technological Innovation in Industry, 1984 Law for Encouragement of Capital Investments, 1959 Law for Encouragement of Capital Investments in Agriculture, 1980

十六	分野 小分野 産業分類	全ての分野
概要 関連する義務	最恵国待遇（第三条） イスラエルは、二国間又は多数国間の協定又は取極に基づき各国に対し異なる待遇を与える措置であつて、次のいずれかの事項に関するものを採用し、又は維持する権利を留保する。 (a) 航空 (b) 海事（搜索及び救助並びに海難救助を含む。） (c) 映画、映像及びテレビジョンにおける共同制作及び配給 (d) 様々な分野における相互承認 (e) 航空及び宇宙の分野における協力	
現行の措置		

16	Sector:	All
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	Most-Favored-Nation Treatment (Article 3)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure that accords differential treatment to countries under any bilateral or multilateral agreement or arrangement regarding:
		(a) aviation;
		(b) maritime matters, including search and rescue and salvage;
		(c) co-production and distribution in film, video and television;
		(d) mutual recognition in different fields; or
		(e) cooperation in aeronautics and space.
	Existing Measures:	

十七		防衛産業
分野	小分野	内国民待遇（第二条）
産業分類	産業分類	最恵国待遇（第二条）
関連する義務		特定措置の履行要求の禁止（第六条）
		経営幹部及び取締役会（第七条）
概要		イスラエルは、防衛産業の分野に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
現行の措置		防衛輸出管理法（二千年）
		防衛会社法（二千年）

17	Sector:	Defense Industry
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Most-Favored-Nation Treatment (Article 3) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to the defense industry sector.
	Existing Measures:	Defense Export Control Law, 2007 Defense Corporations Law, 2005

十八	分野 小分野 産業分類 関連する義務	通信サービス  内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） イスラエルは、通信法（電気通信及び放送）（千九百八十二年）に規定する重要な通信サービスに関する一定のセーフガード措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 当該セーフガード措置には、次の事項を取り扱う措置を含む。 (a) 免許を有する者における支配、支配の手段又は地位を有する者を任命する能力 (b) 経営、主たる業務及び事業の中心地の場所 (c) 取締役、地位を有する者及び特定の職員 政府企業法（千九百七十五年） 通信法（電気通信及び放送）（千九百八十二年） 電気通信に関する命令（イスラエル電気通信株式会社「ベゼツ」）が提供する重要なサービスの決定（千九百九十七年）
----	-----------------------------	---

18	Sector:	Communication Services
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain certain safeguards with regard to essential communication services, as defined in the Communication Law (Telecommunications and Broadcasting), 1982.

Such safeguards may include measures dealing with:

- (a) control, means of control or the ability to appoint a position holder in a licensee;
- (b) location of management, main operations and center of business; and
- (c) members of the board of directors, position holders and certain officers.

Existing Measures:

Government Companies Law, 1975  
Communication Law (Telecommunications and Broadcasting), 1982  
Telecommunications Order (Determination of Essential Service Provided by "Bezeq" the Israel Telecommunication Corp, Ltd.), 1997

イスラエルとの投資協定

十九	分野 小分野 産業分類 関連する義務	全ての分野
	概要	特定措置の履行要求の禁止（第六巻） 経営幹部及び取締役会（第七巻） 1 公的機関保安法（千九百九十八年）に規定する公的機関における取締役、地位を有する者及び特定の職員並びにサイバーセキュリティに関する責任を有する特定の地位にある者は、イスラエルの国民又は永住者であり、かつ、適当な保安上の認可を有することが必要とされる。 2 イスラエルは、自国の領域において生産される物品若しくは提供されるサービスの購入若しくは使用を要求し、又はそれらを実施することを要求する権利を留保する。ただし、その要求が主にサイバーセキュリティに関連し、かつ、国家のサイバーセキュリティ政策に適合している場合に限る。 公的機関保安法（千九百九十八年） 政府決定第二千四百四十三号（二千十五年） 政府決定第二千四百四十四号（二千十五年）
	現行の措置	

19 Sector:

All

Sub-Sector:

Industry  
Classification:

Obligations  
Concerned:

Prohibition of Performance  
Requirements (Article 6)

Senior Management and Board of  
Directors (Article 7)

Description:

1. Members of the board of directors, position holders and certain officers in public bodies as defined in Security of Public Bodies Law, 1998, and persons in certain positions with cyber security responsibilities, are required to be nationals or permanent residents of Israel and to hold appropriate security clearances.

2. Israel reserves the right to demand the imposition or enforcement of the purchase or use of goods produced or services provided in its territory, when the demand is mainly related to cyber security and is in conformance with national cyber security policy.

Existing

Security of Public Bodies Law, 1998

Measures:

Government Decision 2443 of 2015

Government Decision 2444 of 2015

二十	分野 小分野	農業 酪農業（乳牛、やぎ及び羊による酪農業を含む。） 家きん及び卵 蜂蜜（養蜂業を含む。） 落花生
	産業分類 関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） イスラエルは、「小分野」に掲げる農業の分野に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。
	概要 現行の措置	
二十一	分野 小分野 産業分類 関連する義務	鉱業（りん酸塩の鉱業を含む。）、土石採取業並びに鉱業及び土石採取業に付随するサービス 内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） イスラエルは、鉱業（りん酸塩の鉱業を含む。）、土石採取業並びに鉱業及び土石採取業に付随するサービスに関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 鉱業に関する政令
	概要 現行の措置	

20	Sector:	Agriculture
	Sub-Sector:	Dairying including Cattle, Goats and Sheep Dairying Poultry and Eggs Honey including Beekeeping Groundnuts
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure relating to agriculture sectors listed in the "Sub-Sector" element.
	Existing Measures:	
21	Sector:	Mining including Phosphates Mining, Quarrying and Services incidental to Mining and Quarrying
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to mining including phosphates mining, quarrying and services incidental to mining and quarrying.
	Existing Measures:	Mining Ordinance



イスラエルとの投資協定

十二二	分野 小分野	エネルギー ガス（天然ガスを含む。） 石油
	産業分類 関連する義務	
	概要	
		内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条） 1 イスラエルは、天然ガスの分野に関する措置及び石油の分野における重要なサービスに関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 2 イスラエルは、石油法（千九百五十二年）に規定する石油に関する権利を保持する者に対し、国内における消費及び使用のために一定の量の石油又は石油製品を供給することを要求することができる。 3 イスラエルは、石油分留物及び石油精製所並びに石油及び天然ガス（原油又は精油及び石油製品を含む。）のパイプライン輸送に関し、内国民待遇又は特定措置の履行要求に關係する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 4 イスラエルは、液体又は気体の貯蔵、液体（石油又は液化ガス）又は気体の大規模な貯蔵サービス並びに石油及びガスの探査及び生産に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。

22	Sector:	Energy
	Sub-Sector:	Gas including Natural Gas Oil
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	1. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to the natural gas sector and to essential services in the oil sector. 2. Israel may require a petroleum right holder, as defined in the Oil Law, 1952, to supply certain amount of oil or oil products for domestic consumption and usage. 3. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure involving national treatment or performance requirements, with regard to oil distillates and oil refineries and with regard to pipeline transport of oil and natural gas including crude or refined oil and oil products. 4. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to storage of liquids or gases and bulk storage services of liquids (oil or liquefied gas) or gases and with regard to oil and gas exploration and production.

現行の措置	
	政府決定第四百四十二号（二十二年） 政府決定第四百七十六号（二十五年） 政府決定第四百六十五号（二十六年） 天然ガス分野法（二十二年） ガス法（安全及び免許の付与）（千九百八十九年） 石油法（千九百五十一年） 陸上油田探査免許の付与に関する石油監督者のための指針

Existing Measures:

Government Decision 442 of 2013  
 Government Decision 476 of 2015  
 Government Decision 1465 of 2016  
 Natural Gas Sector Law, 2002  
 Gas Law (Safety and Licensing), 1989  
 Oil Law, 1952  
 Oil Supervisor's Guidelines for  
 Licensing of Onshore Oil Exploration

イスラエルとの投資協定

二十三	分野	エネルギー
	小分野	液化石油ガス（LPG）
	産業分類	
	関連する義務	内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）
	概要	1 ガスの供給者、ガスの代理店又はガスの技術者若しくは技師の免許を申請する自然人は、イスラエルの国籍及びイスラエルにおける居住が必要とされる。 2 LPGの免許を有する企業における取締役、地位を有する者及び特定の職員は、イスラエルに居住するイスラエルの国民（一定の場合には、保安上の認可を有する者とする。）であることが必要とされる。 3 LPGの免許を有する企業における外国人による所有は、制限することがある。 4 外国のLPGの技術者は、期間が限定される免許の対象とすることができる。 5 イスラエルは、LPGの販売及び輸出に関し、特定措置の履行要求に係保する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。 ガス法（安全及び免許の付与）（千九百八十九年） 天然ガス分野法（二千二年）
	現行の措置	

23	Sector:	Energy
	Sub-Sector:	Liquefied Petroleum Gas (LPG)
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	1. Nationality and residency of Israel are required for a natural person applying for license as a gas supplier, gas agent or a gas technician/engineer. 2. Members of the board of directors, position holders and certain officers in an LPG licensed enterprise are required to be nationals of Israel, who are residents of Israel, in some cases with security clearance. 3. Foreign ownership in an LPG licensed enterprise may be restricted. 4. Foreign LPG technicians may be subject to time limited license. 5. Israel reserves the right to adopt or maintain any measure involving performance requirements, with regard to LPG marketing and exporting. Gas Law (Safety and Licensing), 1989 Natural Gas Sector Law, 2002
	Existing Measures:	

二十四	分野 小分野 産業分類 関連する義務	エネルギー 電力
<p>内国民待遇（第二条） 特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）</p> <p>1 電力市場法（千九百九十六年）に規定する重要なサービスを提供する電力サービスの提供者の免許を有する者は、次の条件に従うものとする。</p> <p>(a) 当該免許を有する者は、イスラエルに居住するイスラエルの国民が支配する。</p> <p>(b) イスラエルに居住する者以外の者が当該免許を有する者において直接又は間接に保有する支配の手段の上限の率は、国家基盤大臣の決定に従う。</p> <p>(c) 当該免許を有する者における取締役、地位を有する者及び特定の職員は、イスラエルに居住するイスラエルの国民（一定の場合には、保安上の認可を有する者とする。）であることが必要とされる。</p> <p>2 送電、配電、給電又は発電の免許を受ける企業における取締役、地位を有する者及び特定の職員は、イスラエルに居住するイスラエルの国民（一定の場合には、保安上の認可を有する者とする。）であることが必要とされる。</p>		

24	Sector:	Energy
	Sub-Sector:	Electricity
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	<p>1. A licensee as a supplier of an electricity service who provides an essential service, as defined in the Electricity Market Law, 1996, shall be subject to the following conditions:</p> <p>(a) the licensee shall be controlled by nationals of Israel who are residents of Israel;</p> <p>(b) the maximum rate of means of control in the licensee to be held, directly or indirectly, by non-residents of Israel, is subject to a determination by the Minister of National Infrastructures; and</p> <p>(c) members of the board of directors, position holders and certain officers in the licensee are required to be nationals of Israel who are residents of Israel, in some cases with security clearance.</p> <p>2. Members of the board of directors, position holders and certain officers in an enterprise licensed to transmit, distribute, supply or produce electricity are required to be nationals of Israel who are residents of Israel, in some cases with security clearance.</p>

	現行の措置	
3	送電、配電、給電又は発電の免許を受ける企業における外国人による所有は、制限する（と） ができる。	
4	送電、配電、給電又は発電について、自然人が免許を取得するためには、イスラエルの国籍 が必要とされる。	
5	売電の免許を有する者に対する外国の銀行による保証の承認は、電力公社の考慮に従う。 電力市場法（千九百九十六年） 電力公社の基準書	

- Existing Measures:
3. Foreign ownership in an enterprise licensed to transmit, distribute, supply or produce electricity may be restricted.

4. Nationality of Israel is required for licensure of a natural person to transmit, distribute, supply or produce electricity.

5. Approval of guaranties of a foreign bank to a licensee for selling electricity is subject to the consideration of the Electricity Authority.
- Electricity Market Law, 1996
- The Electricity Authority Book of Standards

二十五	分野 小分野 産業分類 関連する義務	身元関係事項の管理、生体測定技術並びに生体測定情報及びそのデータベース
概要	<p>内国民待遇（第二条）</p> <p>特定措置の履行要求の禁止（第六条）</p> <p>経営幹部及び取締役会（第七条）</p> <p>1 イスラエルは、身元関係事項の管理、生体測定技術並びに生体測定情報及びそのデータベースに関する次の事項の要求を課し、又は強制する権利を留保する。</p> <p>(a) 輸出又は輸出のための販売を制限すること。</p> <p>(b) 自国の領域において生産される物品又は提供されるサービスを購入し、又は利用すること。</p> <p>(c) 技術、製造工程その他の財産的価値を有する知識を自国の領域内の自然人又は企業に移転すること。</p> <p>2 身元関係事項の管理又は生体測定情報及びそのデータベースの管理について責任を有する企業における取締役、地位を有する者及び特定の職員は、イスラエルの国民又は永住者（一定の場合には、保安上の認可を有する者とする。）であることが要求されることがあり、また当該企業は、イスラエルにおいて設立され、かつ、イスラエルにその主たる業務及び事業の中心地を有することが要求されることがある。</p>	
現行の措置		

25	Sector:	Identity Management, Biometric Technology, Biometric Information and Databases
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	<p>1. Israel reserves the right to impose or enforce any of the following requirements, with regard to identity management, biometric technology and biometric information and databases:</p> <p>(a) to restrict the exportation or sale for export;</p> <p>(b) to purchase or use goods produced or services provided in its Territory; and</p> <p>(c) to transfer technology, a production process or other proprietary knowledge to a natural person or an enterprise in its Territory.</p> <p>2. Members of the board of directors, position holders and certain officers in an enterprise responsible for identity management and/or managing of a biometric information and database may be required to be nationals or permanent residents of Israel, in some cases with security clearance and the enterprise may be required to be incorporated in Israel and have its main operations and center of business in Israel.</p>
	Existing Measures:	

二十六		
分野	廃棄物の処理	
小分野		
産業分類	内国民待遇（第二条）	
関連する義務	特定措置の履行要求の禁止（第六条） 経営幹部及び取締役会（第七条）	
概要	イスラエルは、有害廃棄物の処理及び廃棄物の国内における処理能力の開発に関する措置を採用し、又は維持する権利を留保する。	
現行の措置		

26	Sector:	Treatment of Waste
	Sub-Sector:	
	Industry Classification:	
	Obligations Concerned:	National Treatment (Article 2) Prohibition of Performance Requirements (Article 6) Senior Management and Board of Directors (Article 7)
	Description:	Israel reserves the right to adopt or maintain any measure with regard to treatment of hazardous waste and with regard to the development of domestic treatment capacities of waste.
	Existing Measures:	

(参考)

この協定は、イスラエルとの間で、投資の拡大により経済関係を一層強化するため、投資の自由化、促進及び保護に関する法的枠組みについて定めるものである。